【公開版】

日本原	原燃株式会社
資料番号	共通 09 <u>R13</u>
提出年月日	令和3年 <u>10月5日</u>

設工認に係る補足説明資料

申請対象設備の選定

【R13 改正内容】

○別紙 1-2、1-15 を追加

目 次

1.	概要	1
2.	設工認申請対象設備の選定]
3.	まとめ	3

: 商業機密の観点から公開できない箇所

1. 概要

再処理施設、MOX燃料加工施設に関する「共通06:本文(基本設計方針、仕様表等)、添付書類(計算書、説明書)、添付図面で記載すべき事項」に示す設工認申請対象設備の選定の基本的な考え方に基づき実施する選定作業について補足説明するものである。

2. 設工認申請対象設備の選定

(1) 設工認申請対象設備の選定の考え方

- a. 設工認申請の対象となる設備は、基本設計方針の要求種別を踏まえ、事業変更許可申請書で担保した事項を実現するための設備(許可整合)、および、技術基準の要求事項を満足するための設備(技術基準適合)を選定する。
- b. 基本設計方針の要求種別が機能要求②に関係する設備は、仕様表対象設備となり、 それらには機器単体で技術基準への適合や基本設計を達成するものと、系統として技術基準への適合や基本設計を達成するものがあることから、系統として安全機能(設計要件)を達成するものに対して、設備構成情報等を示す設計図書に対する色塗りにより安全機能に関係する対象範囲や対象機器を抽出する。
- c. 機能要求②に該当する項目に関係する設備を基本設計方針の項目と併せてリスト 化するとともに、その中で系統として安全機能(設計要件)を達成するものを明確 化し、その対象設備と設計情報(設備構成情報等を示す設計図書)及び色塗り結果 とを紐づけすることにより、対象範囲や対象機器の抽出を抜けなく行う。
- d. 設置要求、機能要求①のように機器単体の機能、性能を達成するものについては、機器リスト等の設計図書等を用いて対象設備をリストに纏める。また、基本設計方針の項目ごとの要求種別および該当する対象設備の整理結果については『共通 06を受けた個別条文での対応 別紙-2「基本設計方針の申請書単位での展開表」』へ反映する。
- e. しゅん工または試験運転中の再処理施設、廃棄物管理施設については、今回の設工 認における変更事項を申請対象とするため、「共通02 事業変更許可申請書で新 規制基準を受けて追加等した項目の明確化」、「共通03 (技術基準規則)新規 制基準を受けて追加等された要求事項及び変更等した項目の明確化」で変更あり とした事項と基本設計方針との紐づけにより変更となる基本設計方針の機能要求 ②を抽出することにより、変更申請で明確にすべき仕様表対象となる機器等を抽 出する。既設工認から変更のない仕様表対象設備については、適正化を行う必要性 を評価した上で、抽出作業を実施する。
- f. なお、試験運転中の再処理施設については、新規制基準を受けて新たに追加する機器以外は、設工認の認可を得ており、上述の安全機能(設計要件)との関係を踏まえると必須ではない機器等も系統説明図において基本設計方針対象設備として申請対象となっている。このため、検査対象機器の範囲を明確化することを目的として、改めてこの関係性について既工認の系統説明図等を含めて設工認申請対象と

なる設備等の抽出を行う。

(2) 申請対象設備の具体的な抽出手順

申請対象設備の抽出については、以下の手順で行う。

a. 設備の分類

- (a) 基本設計方針で整理した主要な設備と要求種別(機能要求②)について「系統として機能、性能を達成するもの(例:プール水冷却/換気/圧縮空気等)」と「機器単体で機能、性能を達成するもの(例:電気盤/計器/放管モニタ等)」に分類する。
- (b) この際、基本設計方針と要求種別、対象設備と併せて、基本設計方針の項目 ごとに技術基準の条項と紐づけを行い、色塗りを行う系統との関係を明確に する。

b. 色塗りによる設備の抽出

- (a) 系統として機能、性能を達成するものは、要求される機能、性能を達成する ために必要となる主要機器、配管等を主流路として設定し、系統図(設計図 書等)に主流路上の機器、配管等の色塗り等を行う。なお、テストライン、 バイパスライン、ベント・ドレンライン等は主流路の対象としない。
- (b) 系統として機能、性能を達成するものを抽出する際は、要求される機能、性能を達成するために必要な関連設備(電気設備、計装設備等)も合わせて抽出作業を行う。
- (c) 主配管、ダクトは、用途(機能)、使用範囲等を明確にするため、設計基準対象施設のみの境界、重大事故等対処設備のみの境界、兼用設備の境界等がわかるように色塗り等を行う。
- (d) 機器単体で機能、性能を達成するものについては、機器リスト(設計図書等) に色塗り等を行う。
- (e) 色塗り等を行ったエビデンス設計図書等(色塗り系統図等)を取り纏め、設備ごとの事業変更許可及び技術基準規則との関係、既設工認可からの変更等を整理表等で整理し、選定ガイドに沿って抜け漏れなく抽出できていることを確認する。

c. 抽出結果の設備リストへの反映

- (a) 抽出した対象設備はリスト化する。
- (b) 抽出した機器等をリストに反映する際には配管やダクト、設備一式を設置するもの、インターロック等は以下に示すとおり記載する。
 - イ)配管及びダクトは説明対象となる技術基準適合性の項目が同じものは from-to で分解せず、「主配管 一式」として記載する。
 - ロ)設備一式を設置することで適合性を示すものも「○○設備 一式」として 記載する。

ハ) 計装設備のインターロックは、作動させる検出端となる計器と機器の停止 等の動作に係るインターロック(停止回路等)の各々について仕様表を作 成するため、計器とインターロックはリスト上分けて記載し、インターロ ック側で検出端となる計器との紐づけが分かるように記載する。

(例:温度高により加熱蒸気を停止するインターロック(○○蒸発缶温度))

(c) なお、設計進捗等によりリストの変更が必要になった場合は、リストの見直 しを実施する。

(3) 申請対象設備選定の結果

『共通 06 を受けた個別条文での対応 別紙-2 「基本設計方針の申請書単位での展開表」』からの申請対象設備選定結果を別紙-1及び別紙-2に示す。

3. まとめ

各条文の『共通 06 を受けた個別条文での対応 別紙 - 2 「基本設計方針の申請書 単位での展開表」』に係る作業結果を踏まえ、適宜、申請対象設備リストの見直しを 行い、以下の共通資料へ反映する。

- (1) 申請対象設備の抽出結果を「共通04 分割申請における考え方」へ反映する。
- (2) 申請対象設備の抽出結果を設備リストにて整理し、「共通05 工事工程等を踏ま えた分割申請計画(分割申請数、申請予定時期、分割の理由)」へ反映する。

以 上

別紙

共通 09 【申請対象設備の選定】

1		111 V 1 3V 11V 1/H	10,0	
	別紙			 -
資料 No.	名称	提出日	Rev	VIII ^¬¬
別紙 1-1	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設	10/1	0	今後実施(設計中)の設備については、別 紙 1-24 に示す。
別紙 1-2	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 再処理設備本体(溶解施設)	10/5	0	
別紙 1-3	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 再処理設備本体(分離施設)	10/7	0	
別紙 1-4	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 再処理設備本体(精製施設)	10/7	0	
別紙 1-5	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 再処理設備本体(脱硝施設)	10/7	0	
別紙 1-6	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 再処理設備本体(酸及び溶媒の回収施設)	10/7	0	
別紙 1-7	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 計測制御系統施設	10/7	0	
別紙 1-8	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 放射性廃棄物の廃棄施設(気体廃棄物の廃 棄施設)	10/1 10/7	0	10/1 提出した対象は、せん断処理・溶解廃ガス処理設備のみ。
別紙 1-9	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 放射性廃棄物の廃棄施設(液体廃棄物の廃 棄施設)	10/7	0	

	別紙			備考
資料 No.	名称	提出日	Rev	- 1/用 <i>- 与</i>
別紙 1-10	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 放射性廃棄物の廃棄施設(固体廃棄物の廃 棄施設)	10/7	0	
別紙 1-11	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 放射線管理施設	10/7	0	今後実施(設計中)の設備については、別 紙 1-24 に示す。
別紙 1-12	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) その他再処理設備の附属施設(電気設備)	10/7	0	
別紙 1-13	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) その他再処理設備の附属施設(圧縮空気設 備)	10/7	0	今後実施(設計中)の設備については、別 紙 1-24 に示す。
別紙 1-14	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) その他再処理設備の附属施設(給水処理設 備)	10/7	0	今後実施(設計中)の設備については、別 紙 1-24 に示す。
別紙 1-15	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) その他再処理設備の附属施設(冷却水設備)	10/5	0	今回提出する対象は、外部ループ及び前処 理建屋の内部ループ、代替安全冷却水系。
別紙 1-16	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) その他再処理設備の附属施設(蒸気供給設備)	10/7	0	
別紙 1-17	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) その他再処理設備の附属施設(分析設備)	10/7	0	

	別紙			備考
資料 No.	名称	提出日	Rev	加州与
別紙 1-18	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) その他再処理設備の附属施設(化学薬品貯 蔵供給設備)	10/7	0	
別紙 1-19	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) その他再処理設備の附属施設(火災防護設 備)	10/1	0	今後実施(設計中)の設備については、別 紙 1-24 に示す。
別紙 1-20	申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 後次回にて詳細化する設備	10/1	0	

共通 09 【申請対象設備の選定】

	ス型 03 「	11.6月713人以 1用	-> ~= / ~ _	
	別紙			備考
資料 No.	名称	提出日	Rev	佣石
別紙 2 M	OX 燃料加工施設			
Enlyst o 1	申請対象設備の抽出作業結果 (MOX)	00/15	0	
別紙 2-1	11 条:火災等による損傷の防止 29 条:火災等による損傷の防止	09/17	2	
別紙 2-2	申請対象設備の抽出作業結果 (MOX) 15条:材料及び構造	09/17	2	
別紙 2-3	申請対象設備の抽出作業結果 (MOX) 20条:廃棄施設	09/17	2	
別紙 2-4	申請対象設備の抽出作業結果 (MOX) 23 条:換気設備	09/17	2	
別紙 2-5	申請対象設備の抽出作業結果 (MOX) 18条: 警報設備	09/17	1	
別紙 2-6	申請対象設備の抽出作業結果 (MOX) 24条: 非常用電源設備	09/17	0	
別紙 2-7	申請対象設備の抽出作業結果 (MOX) 後次回にて詳細化する設備	09/17	0	

令和3年10月5日 RO

別紙 1-2

申請対象設備の抽出作業結果(再処理) 再処理設備本体(溶解施設)

- 1. 申請対象設備リスト
- 2. 申請対象設備抽出結果
 - 2. 1 申請対象設備抽出結果(溶解設備)
 - 2. 2 申請対象設備抽出結果 (清澄・計量設備) 追而
 - 2. 3 申請対象設備抽出結果(代替可溶性中性子吸収材緊急供給系)
 - 2. 4 申請対象設備抽出結果(重大事故時可溶性中性子吸収材供給系)
- 3. 関連する別紙2 (機能要求②抜粋)
 - 3.1 別紙2 機能要求②抜粋(4条:核燃料物質の臨界防止)

[2021年9月30日提出]

3. 2 別紙 2 機能要求②抜粋(10条:閉じ込めの機能)

「2021年8月26日提出]

3. 3 別紙2 機能要求②抜粋(11条:火災等による損傷の防止)

[2021年9月24日提出]

3. 4 別紙2 機能要求②抜粋 (38条: 臨界事故の拡大を防止するための設備)

[2021年9月30日提出]

3. 5 別紙 2 機能要求②抜粋(39条:冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処する ための設備) 追而**

※資料のマスキング整理後に提出予定

3. 6 別紙 2 機能要求②抜粋(40条:放射線分解により発生する水素による爆発 に対処するための設備) 追而 1. 申請対象設備リスト

38条(代替供給):代替可溶性中性子吸収材緊急供給系、38条(重溶解):重大事故時中性子吸収材供給系(溶解設備)、38条(水素掃気):臨界事故時水素掃気

苏	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備是
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	溶解槽A,B	容器	10条-14 38条(代替供給)- 2,3,4,5,16 38条(水素掃気)- 2,8,13	機02-170	AA	2	2-3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子吸収 材緊急供給系 臨界事故時水素掃気系	_	
再処理設備本体 再処理設備本体	溶解施設 溶解施設	溶解設備			第1よう素追出し槽A,B 第2よう素追出し槽A,B	容器容器	4条-16 10条-14 10条-14	機02-1 機02-2	AA AA	2	②-3 ②-3	既設 既設	安重安重	_ 			
行及互政備不停	167升地以	11年7年以 11日			がとよう示厄山 Chin, D		10条-5, 14	100.02.2	AA	2	2) 0	外权					
云 hu ru = 11. /# + / / /	\rightarrow 4.77 +/ →Π.) ic to 4.77 ⇒Π. (##s			th III 1 A D	泰四	11条/35条-32 39条(代替換気)-	+66 A A A				74、4	力壬	≟ ≒ ≒∏, o ∧	主:溶解設備		
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_		中間ポットA, B	容器	2 39条(代替安冷)-	機02-3	AA	2	2 -3	改造	安重	常設SA	従:代替安全冷却水系 - 代替換気設備		
							2, 3, 4, 6 10条-14										
							11条/35条-32 38条(重溶解)-							25.47	主:溶解設備 従:重大事故時可溶性中性		
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_		ハル洗浄槽A,B	容器	25, 27, 38 38条(水素掃気)-	機02-6	AA	2	2 -3	改造	非安重	常設SA	子吸収材供給系 臨界事故時水素掃気系	_	
							2, 8, 13 10条-14								主:溶解設備		
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	エンドピース酸洗浄槽A,B	容器	38条(重溶解)- 25,27,38	機02-4	AA	2	2 -3	改造	非安重	常設SA	注:	_	
声加四乳准十 4	<i>>☆ &刀 +/-</i> ; ⇒⊓.	>☆ 布刀 ⇒几 / 世			マンドピーフルが海捕A D		38条 (水素掃気) - 2,8,13	+6% O.O. F	Α Α	0	(A) 1	HTT ⇒∏L	北边金		臨界事故時水素掃気系		
再処理設備本体 再処理設備本体	溶解施設溶解施設	溶解設備溶解設備	<u>—</u> —		エンドピース水洗浄槽A,B 水バッファ槽	容器	10条-14 10条-14 11条/35条-32	機02-5 機02-9	AA AA	1	<u>2</u> -3 <u>2</u> -3	既設 既設	非安重				
再処理設備本体 再処理設備本体	溶解施設溶解施設	溶解設備溶解設備			硝酸調整槽A,B 硝酸供給槽A,B	容器容器	11条/35条-32 10条-14 10条-14	機02-7 機02-8	AA AA	2	②-3 ②-3	既設 既設	非安重非安重	<u> </u>		<u> </u>	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	可溶性中性子吸収材緊急供給槽A,B	容器	4条-16 10条-14	機02-10	AA	2	<u>2</u> 3	既設	安重	_	_	_	
					184,5		4条-16 10条-5, 9, 14										
							11条/35条-32 38条(代替供給)-								主:溶解設備 従:代替可溶性中性子吸収		
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	主配管	主配管	2, 4, 5, 16 38条(重溶解)-	酉202-01	AA	一式	2 -3	既設	安重/非安重	常設SA/—	材緊急供給系 重大事故時可溶性中性子吸	_	
VIN TITT							25, 27, 38 38条(水素掃気)-						<u> </u>		収材供給系 臨界事故時水素掃気系		
							38条(水蒸炉気)- 2,8,10,11,13 39条(代替安冷)-								代替安全冷却水系		
The sensor that the	الماري الماري الماري	λ ₁			放射性配管分岐第1セル漏えい	r nn	2, 3, 4, 6	LUZ ~ -				Saddle on or	4				XII
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_				10条-9	機02-72	AA	1	<u></u>	既設	安重	_	_		沸騰
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	液受皿2 放射性配管分岐第1セル漏えい	1		機02-73	AA	1	<u></u>	既設	安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備			液受皿3 放射性配管分岐第1セル漏えい		10条-9	機02-74	AA	1	<u></u>	既設	安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備		_	液受皿4 放射性配管分岐第1セル漏えい	1	10条-9	機02-75	AA	1	<u></u>	既設	安重	_	_	<u>–</u>	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備		_	液受皿5 放射性配管分岐第3セル漏えい	1	10条-9	機02-76	AA	1	<u></u>	既設	安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備		_	液受皿 放射性配管分岐第2セル漏えい		10条-9	機02-77	AA	1	2 -3	既設	安重	_	_	_	
再処理設備本体 再処理設備本体	溶解施設溶解施設	溶解設備溶解設備	<u> </u>	<u> </u>	液受皿 溶解槽A,Bセル漏えい液受皿1		10条-9 10条-9	機02-78 機02-79	AA AA	2	②-3 ②-3	既設 既設	安重安重	_ _		<u> </u>	沸騰
再処理設備本体 再処理設備本体	溶解施設 溶解施設	溶解設備 溶解設備		_	溶解槽A,Bセル漏えい液受皿3 溶解槽A Bセル漏えい液受皿5	容器容器	10条-9 10条-9	機02-80 機02-81	AA AA	2 2	②-3 ②-3	既設 既設	安重 安重		_ _		沸騰
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	NOx吸収塔第2セル漏えい液受皿1	H HH	10条-9	機02-82	AA	1	2 -3	既設	安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	NOx吸収塔第2セル漏えい液受 皿2	容器	10条-9	機02-83	AA	1	2 -3	既設	安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	漏えい液受皿中間ポット1A 溶解槽A,Bセル漏えい検知ポッ	容器	10条-9	機02-11	AA	1	2 -3	改造	安重	_	_	_	24h B¥6
再処理設備本体 再処理設備本体	溶解施設溶解施設	溶解設備溶解設備	<u> </u>	<u> </u>	ト1 漏えい液受皿中間ポット2A,B		10条-9 10条-9	機02-12 機02-13	AA AA	2 2	②-3 ②-3	改造	安重安重	_ _		<u> </u>	沸騰
再処理設備本体 再処理設備本体	溶解施設 溶解施設	溶解設備 溶解設備		<u> </u>	漏えい液受皿中間ポット3A 漏えい液希釈水供給槽	容器 容器	10条-9 10条-9	機02-14 機02-15	AA AA	1 1	②-3 ②-3	改造 既設	安重 安重				
再処理設備本体 再処理設備本体	溶解施設 溶解施設	溶解設備 溶解設備		<u> </u>	超音波洗浄廃液受槽 洗浄廃液受槽	容器 容器	10条-9 10条-9	機02-16 機02-17	AA AA	1 1	②-3 ②-3	既設 既設	安重 安重		<u> </u>		
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	サンプリング配管セル漏えい 液受皿	容器	10条-9	機02-84	AA	1	2 -3	既設	安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	放射性配管分岐第1セル漏えい 液受皿1スチームジェットポン		10条-9	機02-106	AA	2	2-3	既設	安重	_	_	_	沸騰
更加理乳供大体	溶解施設	溶解設備			プA,B 溶解槽A,Bセル漏えい液受皿1		10条-9	機02-107	Λ Λ	4	2 -3	既設	安重	_	_		沸騰
再処理設備本体					スチームジェットポンプA,B 超音波洗浄廃液受槽	W > /			AA	4				_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	移送スチームジェット ポンプ	ポンプ	10条-9	機02-114-2	AA	4	2-3	既設	安重	_	_	-	沸騰
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	洗浄廃液受槽 移送スチー	ポンプ	10条-9	機02-114-3	AA	4	2 -3	既設	安重	_	_	_	沸騰
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	ムジェットポンプ 洗浄廃液受槽セル漏えい液受		10条-9	機02-90-3	AA	1	2 -3	既設	非安重	_	_	<u> </u>	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	NOx吸収塔第1セル漏えい液受 皿1	谷岙	10条-9	機02-90-4	AA	1	2 -3	既設	非安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	NOx吸収塔第1セル漏えい液受 皿2		10条-9	機02-90-12	AA	1	2 -3	既設	非安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備		_	硝酸調整槽A,Bセル漏えい液受皿	1	10条-9	機02-90-5	AA	1	2 -3	既設	非安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	ドラミングA,Bセル漏えい液受 皿		10条-9	機02-90-6	AA	1	2 -3	既設	非安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備		_	放射性配管分岐第5セル漏えい 液受皿		10条-9	機02-90-10	AA	1	2 -3	既設	非安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	放射性配管分岐第6セル漏えい液受皿		10条-9	機02-90-11	AA	1	2 -3	既設	非安重	_	_	_	
再処理設備本体 再処理設備本体	溶解施設溶解施設	溶解設備溶解設備	<u> </u>		溶解槽A,Bセル漏えい液受皿2 溶解槽A,Bセル漏えい検知ポッ	容器	10条-9 10条-9	機02-90-13 機02-59-3	AA AA	2	<u>②</u> -3 <u>②</u> -3	既設 既設	非安重				
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	ト4 溶解槽A,Bセル漏えい液受皿4		10条-9	機02-90-14	AA	2	<u>2</u> -3	既設	非安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	主要弁	主要弁	4条-16	機02-125	AA	4	2 -3	既設	安重	_	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	代替可溶性中性子吸収 材緊急供給系	_	_	代替可溶性中性子吸収材緊急 供給槽A,B	容器	38条(代替供給)- 2,3,4,5,8,13,14,1	機02-42	AA	2	2 -3	新設	_	常設SA	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	代替可溶性中性子吸収			主要弁	主要弁	38条(代替供給)-	機02-126	AA	4	2 -3	新設	_	常設SA	_	_	 代替 性子
		材緊急供給系 代替可溶性中性子吸収			→ = 7 ///		2, 4, 5, 16 38条 (代替供給) -										急供
再処理設備本体	溶解施設	材緊急供給系	_		主配管 重大事故時可溶性中性子吸収	主配管	2, 4, 5, 16 38条(重溶解)-	配02-1	AA	一式	2-3	新設	_	常設SA	_		
再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶性中性子吸収材供給系	<u> </u>	_	材供給槽A,B(エンドピース酸 洗浄槽用)		25, 26, 27, 31, 35, 36 , 38	機02-43	AA	2	2 -3	新設	_	常設SA	_	_	
再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶性中性 子吸収材供給系			重大事故時可溶性中性子吸収 材供給槽A,B(ハル洗浄槽用)	容器	38条(重溶解)- 25, 26, 27, 31, 35, 36 , 38	機02-44	AA	2	2 -3	新設	_	常設SA	_	_	
		金子中孙叶子冷叶子 型			→ 亜 →		90久 (壬)炒加										重大溶性
再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶性中性 子吸収材供給系	_	_	主要弁	主要弁	38条(重溶解)- 25, 27, 28, 38	機02-127	AA	4	2 -3	新設	_	常設SA		_	収材(工)
																	ス酸 重大
再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶性中性 子吸収材供給系	_	_	主要弁	主要弁	38条(重溶解)- 25, 27, 28, 38	機02-128	AA	4	2 -3	新設	_	常設SA	_	_	溶性収材
亩加皿乳/坐→ 件	次和北≒□□	重大事故時可溶性中性			· 十 和 答	十 冊 笠	38条(重溶解)-	#J00 1	A A	1	@ c	立に当れ		24年11日本			(/)
再処理設備本体 その他再処理設備の際	溶解施設	子吸収材供給系	_ _	_	主配管	主配管	25, 27, 38	配02-1	AA	一式	2-3	新設	_	常設SA	一		計測制
その他再処理設備の附属拡張	圧縮空気設備	臨界事故時水素掃気系			主配管	主配管	38条(水素掃気)- 2,8,10,11,13	_	AA	一式	2-3	改造	非安重	常設SA/一	主:臨界事故時水素掃気系 従:計測制御設備	_	施設(計劃
属施設														, — · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			\F12

2. 申請対象設備抽出結果

2. 1 申請対象設備抽出結果

施設	溶解施設
設備	溶解設備
機器	容器、主配管、主要弁

	施設	区分		機器名称 (許可)		
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_		溶解槽、可溶性中性子吸収 材緊急供給槽、溶解設備
【主たる機能】	溶解槽への可溶性	上中性子吸収材自動	供給 (DB)			•

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施設	区分		設備	区分		機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-170	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	溶解槽	溶解槽A, B	容器	AA	2	②-3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子 吸収材緊急供給系 臨界事故時水素掃気系	_	
機02-10	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	可溶性中性子吸収材緊急的給槽	大 可溶性中性子吸収材緊急供給槽A,B	容器	AA	2	2-3	既設	安重	_	_	_	
機02-125	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	溶解設備	主要弁	主要弁	AA	4	2-3	既設	安重	_	_	_	
配202-1	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	2-3	改造	安重/非安重	常設SA/一	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子 吸収材緊急供給系 重大事故時可溶性中性 子吸材供給系 臨界事故時水素掃気系 代替安全冷却水系	-	

	施設	区分		機器名称(許可)		
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	中間ポット、溶解設備
【主たる機能】	Pu溶液又はHAW溶液	夜を保有する貯槽の	の崩壊熱除去 (DB)			•

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施設	区分	設備区分				機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-3	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	=	_	=	中間ポット	中間ポットA, B	容器	AA	2	②-3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替安全冷却水系 代替換気設備	-	
配02-1	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	-	_	_	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	2)-3	改造	安重/非安重	常設SA/-	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子吸 収材緊急供給系 重大事故時可溶性中性子 吸収材供給系 重大事故時水素掃気系 (代替安全給却水系	_	

	施設	区分		設備	区分		機器名称 (許可)
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	漏えい液受皿、溶解設備
【主たる機能】	Pu溶液又はHAW溶液	夜を保有する貯槽が	からの漏えい液回り	Z (DB)	•	•	

【機器等の抽出】 紐付け番号 施設区分 設備区分 機器名称 (許可) 機器名称 機種 設置場所 数量 申請回 変更区分 DB区分 SA区分 備考 (主従) (主従) 機02-72 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿1 容器 AA 2)-3 既設 安重 沸騰 機02-73 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿2 容器 AA 2)-3 既設 安重 機02-74 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿3 容器 AA 2)-3 既設 安重 機02-75 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿4 容器 AA 2)-3 既設 安重 機02-76 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿5 容器 AA (2)-3 既設 安重 機02-77 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 放射性配管分岐第3セル漏えい液受皿 容器 AA 2)-3 既設 安重 機02-78 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 放射性配管分岐第2セル漏えい液受皿 容器 AA 2)-3 既設 安重 機02-79 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 溶解槽A,Bセル漏えい液受皿1 容器 AA 2 2)-3 既設 安重 沸騰 機02-80 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 溶解槽A,Bセル漏えい液受皿3 容器 AA 2 2)-3 既設 安重 沸騰 機02-81 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 溶解槽A,Bセル漏えい液受皿5 容器 AA 2 2)-3 既設 安重 沸騰 機02-82 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 N0x吸収塔第2セル漏えい液受皿1 容器 AA 2)-3 既設 安重 機02-83 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 NOx吸収塔第2セル漏えい液受皿2 容器 AA 2)-3 既設 安重 機02-11 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 漏えい液受皿中間ポット1A 容器 AA **2**-3 改造 安重 機02-12 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 溶解設備 溶解槽A,Bセル漏えい検知ボット1 容器 AA 2 2)-3 改造 安重 沸騰 機02-13 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 漏えい液受皿中間ボット2A,B 容器 AA 2 2)-3 改造 安重 2)-3 機02-14 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 漏えい液受皿中間ポット3A 容器 AA 改造 安重 機02-15 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 溶解設備 漏えい液希釈水供給槽 容器 AA 2)-3 既設 安重 機02-16 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 溶解設備 超音波洗浄廃液受槽 容器 AA 2)-3 既設 安重 容器 2)-3 既設 機02-17 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 溶解設備 洗浄廃液受槽 AA 安重 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 漏えい液受皿 サンプリング配管セル漏えい液受皿 容器 2)-3 既設 機02-84 AA 安重 放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿1ス 機02-106 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 溶解設備 ポンプ AA 2 2)-3 既設 安重 沸騰 チームジェットポンプA,B 溶解槽A,Bセル漏えい液受皿1スチーム 2)-3 機02-107 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 溶解設備 ポンプ AA 4 既設 安重 沸騰 溶解槽A,Bセル漏えい液受皿1スチーム 溶解施設 機02-108 再処理設備本体 溶解設備 溶解設備 ポンプ AA 4 2)-3 既設 安重 沸騰 超音波洗浄廃液受槽 移送ス 機02-114-2 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 溶解設備 ポンプ AA (2)-3 既設 安重 沸騰 チームジェットポンプ 洗浄廃液受槽 機02-114-3 再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 溶解設備 ポンプ AA **2**-3 既設 安重 沸騰 送スチームジェットポンプ

	施設	区分		設備	区分		機器名称 (許可)
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_		-	漏えい液受皿、溶解設備
【主たる機能】	Pu溶液又はHAW溶液	夜を保有する貯槽が					

4-686	Acto	as	444	111	1

「機器等の抽出」															
紐付け番号	施設区分	設值		機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
配02-1	再処理設備本体 溶解施設	溶解設備 —	_	— 溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	②-3	改造	安重/非安重	常設SA/—	主: 深解數價 深解數價 深代替 於 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大		

	施設	区分		設備	区分	機器名称 (許可)
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備		_	漏えい液受皿、溶解設備
【主たる機能】	使用済燃料等を扨	う系統からの漏え	い液回収 (DB)			

【機器等の抽出】																	
紐付け番号	施設区分	,		設	備区分	機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-90-3	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	― 漏えい液受皿	洗浄廃液受槽セル漏えい液受皿	容器	AA	1	②-3	既設	非安重	-	_	_	
機02-90-4	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	=	_	― 漏えい液受皿	NOx吸収塔第1セル漏えい液受皿1	容器	AA	1	②-3	既設	非安重	-	-	_	
機02-90-12	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	=	_	一 溶解設備	NOx吸収塔第1セル漏えい液受皿2	容器	AA	1	②-3	既設	非安重	_	-	_	
機02-90-5	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	― 漏えい液受皿	硝酸調整槽A,Bセル漏えい液受皿	容器	AA	1	②-3	既設	非安重	-	_	_	
機02-90-6	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	=	_	― 漏えい液受皿	ドラミングA,Bセル漏えい液受皿	容器	AA	1	②-3	既設	非安重	_	-	_	
機02-90-10	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	-	_	— 溶解設備	放射性配管分岐第5セル漏えい液受皿	容器	AA	1	2-3	既設	非安重	_	_	_	
機02-90-11	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	― 漏えい液受皿	放射性配管分岐第6セル漏えい液受皿	容器	AA	1	2-3	既設	非安重	-	_	_	
機02-90-13	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	~ 溶解設備	溶解槽A,Bセル漏えい液受皿2	容器	AA	2	②-3	既設	非安重	-	_	_	
機02-59-3	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	~ 溶解設備	溶解槽A,Bセル漏えい検知ポット4	容器	AA	2	②-3	既設	非安重	-	_	_	
機02-90-14	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	溶解設備	溶解槽A,Bセル漏えい液受皿4	容器	AA	2	2-3	既設	非安重	-	_	_	
ñ∂02−1	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	一 溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	②-3	既設	安重/非安重	常設SA/—	主:完全等等等等等等等等等等等等等。 医生物 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种	_	

	施設	区分		設備	区分		機器名称(許可)				
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	溶解情、第1よう素迫出し 情、第2よう素迫出し情。 中間ボット、エンドビース水 洗浄情、エンドビース水 洗浄情、ハル洗浄情、水 パッワァ特。 一個酸概念情、可溶性中性子 吸収材緊急供給槽、可溶性中性子				
【主たる機能】	系統内での受入れ・処理等における放射性物質の閉じ込め機能(DB)										

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施部	收区分		設備	区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-170	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	溶解槽	溶解槽A, B	容器	AA	2	2-3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替可溶性 中性子吸収材緊 急供給系 臨界事故時水素 掃気系	_	
機02-1	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	第1よう素追出し槽	第1よう素追出し槽A, B	容器	AA	2	2 -3	既設	安重	_	_	_	
機02-2	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	-	-		第2よう素追出し槽	第2よう素追出し槽A,B	容器	AA	2	2 -3	既設	安重	-	_	-	
機02-3	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	-	_	中間ポット	中間ポットA, B	容器	AA	2	②−3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替安全冷 却水系 代替換気設備	-	
機02-6	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	-	_	ハル洗浄槽	ハル洗浄槽A, B	容器	AA	2	2 -3	改造	非安重	常設SA	主:溶解設備 従:重大事故時 可溶性中性子吸 収材供給系 臨界事故時水素 編気系	_	
機02-4	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	-	-	エンドピース酸洗浄槽	エンドビース酸洗浄槽A, B	容器	AA	2	2 -3	改造	非安重	常設SA	主:溶解設備 主:溶解數備 注:重生中的吸收材料事故時水素 臨界事故時水素	-	
機02-5	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_		-	エンドピース水洗浄槽	エンドビース水洗浄槽A,B	容器	AA	2	2 -3	既設	非安重	-	_	-	
機02-9	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_			水バッファ槽	水バッファ槽	容器	AA	1	2 -3	既設	非安重				
機02-7	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_		硝酸調整槽	硝酸調整槽A, B	容器	AA	2	2 -3	既設	非安重	_	_		
機02-8	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	-	_	硝酸供給槽	硝酸供給槽A,B	容器	AA	2	② -3	既設	非安重	-	_	_	
機02-10	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_		-	可溶性中性子吸収材緊急 給槽	供 可溶性中性子吸収材緊急供給槽A,B	容器	AA	2	2)-3	既設	安重	-	_	-	
配02-01	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	-	_	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	2 -3	既設	安重/非安重	常設SA/一	主:溶样酸價性 從:代子數學 重大學系 重大學系 重性 中世系 等 等 等 等 的 等 的 等 的 等 的 等 的 等 的 等 的 形 等 的 形 等 的 形 等 的 形 等 的 形 等 的 等 的	_	

	施設	区分		設備	区分		機器名称 (許可)
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_		中間ポット、ハル洗浄槽、 水バッファ槽、溶解設備
【主たる機能】	Pu溶液又はHAW溶	夜を保有する貯槽の	の水素掃気 (DB)	•	•	•	

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施設	区分		設備	区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-3	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	-	中間ポット	中間ポットA, B	容器	AA	2	2-3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替安全冷却水系 代替换気設備	-	
機02-6	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	ハル洗浄槽	ハル洗浄槽A, B	容器	AA	2	2-3	改造	非安重	常設SA	主:溶解設備 従:重大事故時可溶性中性子 吸収材供給系 臨界事故時水素掃気系	_	
機02-9	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	-	水バッファ槽	水バッファ槽	容器	AA	1	2-3	既設	非安重	-	_	-	
配02-1	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	-	_	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	2-3	既設	安重/非安重	常設SA/一	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子吸収材 緊急供給系 重大事故時可溶性中性子吸収 材供給系 臨界事故時水素掃気系 代替安全冷却水系		

	施設	区分		設備	区分		機器名称(許可)
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	1	-	溶解設備
【主たる機能】	Pu溶液又はHAW溶	夜を保有する貯槽の	の水素掃気(支援:	空気供給)			

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施設	区分		設備目	区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
配02-1	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	-	_	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	2 -3	既設	安重/非安重	常設SA/一	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子吸収材 緊急供給系 重大事故時可溶性中性子吸収 材供給系 取異事故時本書場何多		

	施設	区分		設備	区分	機器名称 (許可)
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	溶解槽、エンドピース酸洗 浄槽、ハル洗浄槽、溶解設 備
【主たる機能】	可溶性中性子吸収					

「機器等の抽出」				

紐付け番号	施設	区分		設備	区分		機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-170	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	溶解槽	溶解槽A,B	容器	AA	2	2-3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子吸 収材緊急供給系 臨界事故時水素掃気系	_	
機02-4	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	-	エンドピース酸洗浄槽	エンドピース酸洗浄槽A,B	容器	AA	2	②−3	改造	非安重	常設SA	主:溶解設備 従:重大事故時可溶性中 性子吸収材供給系 臨界事故時水素掃気系	-	
機02-6	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	-	_	-	ハル洗浄槽	ハル洗浄槽A, B	容器	AA	2	2-3	改造	非安重	常設SA	主:溶解設備 従:重大事故時可溶性中 性子吸収材供給系 臨界事故時水素掃気系	-	
而202-1	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	-	_	-	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	②-3	改造	安重/非安 重	常設SA/一	主:溶解設備 從:代替可溶性中性子吸 収材緊急性 重大事故時可溶性中性子 吸収材供給系 重果事故時水素掃気系 代替安全冷却水系	_	

		施設	区分		設備区	3分		機器名称(許可)					
	【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	-	溶解槽、エンドピース酸洗 浄槽、ハル洗浄槽、溶解設 備					
		その他再処理設備の 附属施設	圧縮空気設備	臨界事故時水素掃気 系	_	_	-	臨界事故時水素掃気系					
ľ:	主たる機能】	臨界事故により発生	8界事故により発生する放射線分解水素の揺気										

上たる機能」	面が予以により元上 7 切成初級力所不然。	7 III X															
【機器等の抽出】																	
紐付け番号	施設区分		設備▷	5分		機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-170	再処理設備本体溶解施設	溶解設備	_	_	_	溶解槽	溶解槽A, B	容器	AA	2	2-3	改造	安重	音製の	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子吸収材緊 急供給系 臨界事故時水素掃気系	_	
機02-4	再処理設備本体溶解施設	溶解設備	_	_	_	エンドピース酸洗浄槽	エンドピース酸洗浄槽A,B	容器	AA	2	2-3	改造	非安重	m ax on	主:溶解設備 従:重大事故時可溶性中性子吸 収材供給系 臨界事故時水素掃気系	_	
機02-6	再処理設備本体溶解施設	溶解設備	_	_	_	ハル洗浄槽	ハル洗浄槽A, B	容器	AA	2	@-3	改造	非安重	帯 談SA	主:溶解設備 従:重大事故時可溶性中性子吸 収材供給系 臨界事故時水素掃気系	_	
配02-1	再処理設備本体 溶解施設	溶解設備	_	-	_	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	2-3	改造	安重/非安重	常設SA/一	主:溶解設備 徒:代替可溶性中性子吸収材緊 患供給系 重大事故時可溶性中性子吸収材 供給系 能界事故時水素掃気系 代替安全冷却水系	_	
_	その他再処理設備の 附属施設 圧縮空気設備	臨界事故時水素掃気 系	_	_	-	臨界事故時水素掃気系	主配管	主配管	AA	一式	@-3	改造	非安重	常設SA/一	主:臨界事故時水素掃気系 従:計測制御設備	_	計測制御系統施設の配管 (計装配管)

	施設	区分		設備	区分		機器名称(許可)
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	1	1	中間ポット、溶解設備
【主たる機能】	内部ループへの通	•	•				

【機器等の抽出】																	
紐付け番号	施設区分		設備	区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-3	再処理設備本体 溶解施設	溶解設備	_	_	_	中間ポット	中間ポットA, B	容器	AA	2	2)-3	改造	安重		主:溶解設備 従:代替安全冷却水系 代替換気設備	_	
配02-1	再処理設備本体 溶解施設	溶解設備	_	_	I	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	2 -3	改造	安重/非安重	常設SA/—	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子 吸収材緊急時/供溶性 重大事故時供為整性中性 子吸収事故時供給系素/ 景界事故時/給永素/ 景界事故時本系/ 八替安全冷却水	-	

	施設	区分		設備	区分	機器名称 (許可)
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備			中間ポット、溶解設備
【主たる機能】	貯槽等への注水					

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施設	区分		設備	#区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-3	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	_	_	中間ポット	中間ポットA, B	容器	AA	2	2 -3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替安全冷却水系 代替換気設備	_	
配202-1	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	-	_	_	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	@-3	改造	安重/非安重	常設SA/一	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子吸 収材緊急供給系 重大事故時可溶性中性子 吸収材供給系 臨界事故時水素掃気系 代替安全冷却水系	-	

	施設	区分		設備	区分		機器名称 (許可)				
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	_	1	_	中間ポット、溶解設備				
	再処理設備本体	溶解施設	代替安全冷却水系	_	1		代替安全冷却水系				
【主たる機能】	令却コイル等への通水による冷却										

		抽	

紐付け番号	施設区分	設備	区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-3	再処理設備本体 溶解施設 溶解設備	_	_	_	中間ポット	中間ポットA, B	容器	AA	2	2 -3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替安全冷却水系 代替換気設備	_	
ñ 202−1	再処理設備本体 溶解施設 溶解設備	_	_	-	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	2-3	改造	安重/非安重	常設SA/一	主:溶解設備 従:代替可溶性中性子吸 収材緊急供給系 重大事故時可溶性中性子 吸收材供給系 臨界事故時水素掃気系 代替安全冷却水系	_	

	施設	区分		設備	区分	機器名称 (許可)					
【対象機器】	再処理設備本体	中間ポット									
【主たる機能】	セルへの導出経路	再処理設備本体 溶解施設 溶解設備 ― ― 中間ボット セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応									

【##			

紐付け番号	施設	区分		設備	区分	機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-3	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	-	_	中間ボット	中間ポットA, B	容器	AA	2	2-3	改造	安重	常設SA	主:溶解設備 従:代替安全冷 却水系 代替換気設備	-	

2. 3 申請対象設備抽出結果

施設	溶解施設
設備	代替可溶性中性子吸収材緊急供給系
機器	容器、主配管、主要弁

		施設	区分		機器名称(許可)					
Ī	【対象機器】	再処理設備本体	理設備本体 溶解施設 子吸収材緊急供給系 —					代替可溶性中性子吸収材緊 急供給槽、代替可溶性中性 子吸収材緊急供給系		
	【主たる機能】	可溶性中性子吸収材の自動供給(SA):代替可溶性中性子吸収材緊急供給系								

【機器等の抽出】																	
紐付け番号	施設	区分		設備区分		機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機02-42	再処理設備本体	溶解施設	代替可溶性中性 子吸収材緊急供 給系		_	代替可溶性中性子吸収材緊 急供給槽	代替可溶性中性子吸収材緊急供給槽A, B	容器	AA	2	2-3	新設	_	常設SA	=	_	
機02-126	再処理設備本体	溶解施設	代替可溶性中性 子吸収材緊急供 給系		_	代替可溶性中性子吸収材緊 急供給系	主要弁	主要弁	AA	4	2-3	新設	-	常設SA	_	_	代替可溶性中性子吸収材緊 急供給弁
配02-1	再処理設備本体	溶解施設	代替可溶性中性 子吸収材緊急供 給系		_	代替可溶性中性子吸収材緊 急供給系	主配管	主配管	AA	一式	2-3	新設	_	常設SA	=	_	

2. 4 申請対象設備抽出結果

施設	溶解施設
設備	重大事故時可溶性中性子吸収材供給系
機器	容器、主配管、主要弁

	施設	施設区分 設備区分								
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶 性中性子吸収材 供給系	性中性子吸収材 一 一 一						
【主たる機能】	京都は不 京都性中性子吸収材の自動供給 (SA) : 重大事故時可溶性中性子吸収材供給系									

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施影	区分		設備区	'i)		機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用 (主従)	備考
機02-43	再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶 性中性子吸収材 供給系	-	_	_	重大事故時可溶性中性子吸 収材緊急供給槽	重大事故時可溶性中性子吸収材供給槽A,B (エンドピース酸洗净槽用)	容器	AA	2	2-3	新設	_	常設SA	_	_	
機02-44	再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶 性中性子吸収材 供給系	_	_	_	重大事故時可溶性中性子吸 収材緊急供給槽	重大事故時可溶性中性子吸収材供給槽A, B (ハル洗浄槽用)	容器	AA	2	2-3	新設	_	常設SA	_	_	
機02-127	再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶 性中性子吸収材 供給系	_	_	_	重大事故時可溶性中性子吸収材供給系	主要弁	主要弁	AA	4	2-3	新設	_	常設SA	_	_	重大事故時可溶性中性子吸 収材供給弁 (エンドピース 酸洗浄槽用)
機02-128	再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶 性中性子吸収材 供給系	_	_	_	重大事故時可溶性中性子吸収材供給系	主要弁	主要弁	AA	4	2-3	新設	_	常設SA	_	_	重大事故時可溶性中性子吸 収材供給弁 (ハル洗浄槽 用)
首己02-1	再処理設備本体	溶解施設	重大事故時可溶 性中性子吸収材 供給系	_	_	_	重大事故時可溶性中性子吸収材供給系	主配管	主配管	AA	一式	2-3	新設	_	常設SA	_	_	

注 2: 本系統図中の異材度手部は、今回申請範囲外である。 第 1.2.2.1-1 図 溶解設備の系統図 Ν

53

35

3. 関連する別紙2 (機能要求②抜粋)

3. 1 別紙2 機能要求②抜粋

(第4条:核燃料物質の臨界防止)

[2021年9月30日提出]

項目	基本設計方針	要求種別 主な設備	展開事項	説明対象	第1G r 申請対象設備	仕様表	説明対象	申請対象設備	(貯蔵庫共用) 申請対象設備	仕様表	説明対象	申請対象設備	主要 4 建屋、E施設共用) 申請対象設備 (2項が東空) 仕様	表 説明:	r)象 申請対象設備	申請対象設備	第3Gェ 申請対象設備 (別設工認①	申請対象設備(別設工級②)	仕様表
界管理を行う	の臨界安全設計に当たり、これらの管理に対して適切な臨 体系の未臨界確保のために設定する値(以下「核的制限) を設定する。	を用済燃料受入れ設備(燃料取出し 備) 使用済燃料貯蔵設備(燃料貯蔵設備		100.937A1 IQC	(2項変更①)	ELIPSA	869171-95	(1項変更①)	(2項変更②)	LLINA	100-517-1 ag	(1項変更②)	燃料供給設備 <ラック/ せん断処理設備 /棚 臨界 ※解設備 /	/ピット L管理)	(1 気を火の) 使用済燃料受入れ設備(燃料取出し	(2項変更④) (2項変更④) (使用済燃料貯蔵設備(燃料送出し設備) ブルトニウム種製設備	第2ユーティリティ建屋に係る施設)	(別設工器(2) 海洋放出管切り離し工事)	<ラック/ビット /棚(臨界管理) >
2		使用が整件が確認備 (燃料送出し設 燃料供給設備 (燃料供給設備 (水料、水料、水料、水料、水料、水料、水料、水料、水料、水料、水料、水料、水料、水	設計方針(単一ユニット の臨界安全設計)	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	清澄を・計量設備 分離設備 分配設備 分配設備 かラン・ブルトニウム混合を研設機 グラン・ブルトニウム混合を研設機 グラン・ブルトニウム混合を研設機 グラン・ブルトニウム混合を研設機 グラン・ブルトニウム混合を研設機 (4倍・ 選元系) カル混合 報酬設備 が対した。 は一般 である が対した。 かから のが形成した。 から のが形成した。 から のがまた。 から のがある のがる のがある のがる のがる のがる のがる のがる のがる のがる のが	等) 篇(臨 > 理(核 等) 理(核 等) 理(核 等)	使用冰燃料的鑑改個(燃料的鑑改 使用冰燃料的鑑改個(燃料送出し影 個)	2 特数建量、一時計管心規定備 ウラン原研設備(ウラン原研系) ウラン酸化物貯蔵設備 シラン酸化物貯蔵設備 受シェブルトニウム混合酸化物貯蔵 が 分析設備	_	-	・制制を ・制制を ・制度を ・配子を ・一の。 ・ ・ 一の。 ・ 一。 ・ 。 ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。 ・ 一。 一。 ・ 一。 ・ 一。 一。 一。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。
中のペレット 機器構造材の 料の仕様も含	設定に当たっては、取り扱う核燃料特質の物態的・化学校 注きなか、ほう最及びがドリコウルの中性子の吸収の力を 分濃度、溶解槽中のベレット間隔。エンドビース酸洗機を 関係版び水の電度による能量条件がによいを機能を放けている機能を 反射条件に関し、工程、ユニットの設置環境及び使用溶燃 が、それぞれの起空はれる状態の変勢の途間に対象が が最も大きくなる場合を依定し、計算コードの計算級差も が変も大きくなる場合を依定し、計算コードの計算級差も	ウラン・ブルトニウム混合脱硝設備 (ウラン・ブルトニウム混合脱硝設備	() () () () () () () () () () () () () (-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	(粉体系) - \$\text{\tinit}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texititt{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tex{\tex	等) 品理 等) 品理 核 養型 核 養型 核 极界 核 极界 核 极界 核 极界			-	-	管理》 一个
質を内包する 設計する形状	ニウム溶液を内包する機器は、原則として液体の核燃料機器において、濃度に制度値を設定する必要がないように 機器において、濃度に制度値を設定する必要がないように 寸法管理(以下「全濃度效全形状寸法管理」という。)及 て中性子吸収材を併用した設計とする。	ク機設備 うた記備 - 特許留処理設備 方面連集 - 特許留処理設備 対理 - 特別 - 特別 - 特別 - 特別 - 表別 - 表別 - 表別 - 表別	設計方針(単一ユニット の臨界安全設計)	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	ク解設備 分配設備 分配設備 分別を提出・時計留処理設備 グラン・ブルトニウム混合製研設備 (溶液表) (のアン・ブルトニウム混合製研設備 (ウラン・ブルトニウム混合製研設備)	理(核	-	ブルトニウム精製設備 情製建品 時前留処理設備 分析設備	-	-	<容器(臨界管理)> - 臨界管理(核的制限値等)
互干渉を考慮 的に管理可能	の臨界安全設計に当たり、単一ユニット相互間の中性子和 し、成接的に計量可能と単一ユニット相互間の配置、間接 文は単二ニット相互同の配置、中柱子吸収材の配置及び形 て適切な核的制限値を設定する。	(備))	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	溶解設備 分離設度 分配型機 分離機能 申約官包処理設備 分離機に アルトニウム混合設研設備 ウラン・ブルトニウム混合設研設備 (ウラン・ブルトニウム混合設研設備 (物体系) かラン・ブルトニウム混合設研設備 (物体系) ・	理 (核 等) 臨界管 △ 理 (核 等)	使用济燃料受入礼設備(燃料取出し 備) 使用济燃料的藏設備(燃料的藏設 使用济燃料的藏設備(燃料送出し影 備)	一談 使用済燃料貯飯設備 (燃料送出し設備) ブルトニウム特製設備 () 対象	-	-	マック/ビット /棚(ないないでは、 ・臨界管理(核 ・のででです。 ・臨界とは ・のででです。 ・のででである。 ・のでである。 ・のでである。 ・のでである。 ・のでである。 ・のでは、 ・のでである。 ・のでである。 ・のでは、 ・のでである。 ・のでは、 ・のでは、 ・のでは、 ・のできます。 ・のでは、 ・のできます。 ・のできます。 ・のできます。 ・のできまる。 ・のできます。 ・のできます。 ・のできます。 ・のできます。 ・のできます。 ・のできます。 ・のできます。 ・のできまます。 ・のできます。 ・のでをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをも
果,減速条件 下 転倒及78	設定に当たっては、単一ユニット相互間の中性子の吸収及 及び反射条件に関し、機能料物質修動時の機能料物質の高 度近の可能性も関係さ、それぞれの型定される象形 応度が最も大きくなる場合を仮定し、計算コードの計算部 行分交全余格を見込んで設定する。	特製建屋一時貯留処理設備 ウラン脱硝設備(ウラン脱硝系) ウラン・プルトニウム混合脱硝設備	評価条件(複数ユニット)の核的制限値の設定条件) (性) (性) (対して) (対し) (対し) (対し) (対し) (対し) (対し) (対し) (対し	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	整(龍界至 ・臨界至 的制研被等	管理) 理(核			-	-	器(監界管理) > 臨界管理(核 的根核原,核查装置(臨界管理) > 臨界管理(核 的根核原,核查装置(臨界管理) > 臨界医值等
複数ユニット 造材を使用し 11	の統治制限額の維持については、十分な構造強度をもつ構 固定する政計とする。		設計方針(複数ユニット の臨界安全設計)	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	ラク/ /側(集 対 / 年度)主要協会主要協会(本 定)主機(集 を)主機(集 を)主要材・主要材	料 臨界管 料 検査装 △ 管理)			-	-	(男 (
臨界安全管理 に移送する場 燃料物質濃度	を行う機器から施界安全管理対象外の機器、指流を連続的合については、計測制解系統施設の放射線性(器により核が有意量以下であることを監視する設計とする。	設置要求 選用要求 機能要求2 反全体護回路	設計力針(臨界安全管理 対象外機器への溶液の連 終移送時における放射線 検出器による連続濃度監 視)	_	-	-	-	-	-	-	-	-			_	計劃制御設備安全保護回路	-	_	・主要材料 <計画装置>・検出調整の無い。 ・検出調整の無い。計画報節性範囲 <インターロック・検出器の ・設定値
う, 臨界を想 合に, 従事者	として臨界が発生した場合にも、その影響を緩和できる上 でしている溶解施設の溶解構並びに臨界事故を想定した場 に著しい放射機能ばくをもたらすおそれのあるセル及で 臨界の発生を直ちに検知するため臨界警報装置を設置する		設 設計力針(臨界警報装置 の設置)	-	-	-	-	-	-	-	-	-		- Д	_	放射線監視設備(服内モニタリングE 備)	-	_	<計測装置> ・検出器の種類 ・計測範囲 ・警報動作範囲
臨界管理上底 が発生した級以 性中性上級収 臨界措置が講	悪な旅跡である部類施設の部別種においては、万一、臨時 合にあいても、可溶性で中半子吸収材料急供給回路及び可溶 材製金供給系により。自動で中性子吸収材の注入による来 してある設計とする。	機能要求① 溶解設備 機能要求② 容解護回路	設計方針(溶解槽におけ る可溶性中性子吸収材緊 急供給系の設計)	_	-	-	-	-	-		Δ	-	市解設備 (京都 債 明) 2 (京都 債 明) 3 (主配管) (主配管)	>	_	安全保護回路	-	-	<計測装置> ・検出器の種類 ・計測範囲 <インクト ・検出器の種類 ・設定値

3. 2 別紙2 機能要求②抜粋

(第10条:閉じ込めの機能)

[2021年8月26日提出]

_			1	_	T	W1.0		T	AV	(0~IX ± 11 III)		I	Word / N.T.	T 474 P. PH-95 H. III)				44	in a		
項目	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項		第1Gr 由24分4-27/8			第2Gェ	(貯蔵庫共用)			第2Gr(主要 申請対象設備	要4建屋、E施設共用) 申請対象設備			d 28.4+6.25#	中海外海沟肺	申請対象設備	申請対象設備	T
番号	塩や飲訂刀割	安水恒別	土/(政闸	展州争项	説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請对象設備 (1項変更①)	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請对象設備 (1項変更②)	申請对聚設偏 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更③)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認②) 海洋放出管切り離し工事)	仕様表
4	設計基準率放映においても、可能な限り負圧維持、漏えい及び逆流防止の機能が確保される設計とするとともに、一部の機気系統の機能が損な われた場合においても、再処理施設全体として気体の閉じ込め機能を確 保する設計とする。	機能要求位	村本所原類・新新級ガス処理設備 村本所原類がス処理設備 村本の地理を開催している。 村本の地理を開催している。 村本の地理を開催している。 村本の地理を開催している。 村本の地域を対した。 村本の地域があり、 市価値があり、 村本の地域があり、 市価値があり、 村本の地域があり、 市価値があり、 村本の地域があり、 市価値があり、 市価値があ	名		-	-	-	-			-		基本設計方針	容量原動機	-	-	基本設計力針	-		容量原原動機
5	安全機能を有する施設は、使用済燃料等から発生する崩壊熱を適切に除 去することとし、使用済燃料等を含む溶液の崩壊熱による機器内での適 機を切止する設計とする。	機能要求容器	溶解設備 清液・量量設備 分階型機一時幹留処理設備 ブルトニラム情報設備 近ルトニラム情報設備設施 (2) 高レンル療液処理設備 (3) 高レンル療液処理設備(高レベル廃液 機能系)。高レベル廃液処理設備(高レベル廃 液形水の廃液処理設備(高レベル廃 流して、廃液処理設備(高レベル 原液が展光 高レンル廃液炎理設備(高レベル 原液が成分の 高レンル廃液炎理設備(高レベル 原液が成分の 高レンル廃液炎理設備(高レベル 原液が成分の 高レンル廃液炎理設備(高レベル 原液が 高、大力を 、高、大力を 、一力を 、一力を 、一力を 、一力を 、一力を 、一力を 、一力を 、一	E E	-	基本設計力針	客盤 伍熟 面積 吐出版 計 主要 计接 服 動	-	-	-	-	-	-	基本設計方針	容量 伝統 班出压力 主主要寸法 原動機	-	-	落本設計方針	-	-	容量。 容量。 確然無面積 吐出压力 主要可讨 提 原動機
7	使用済燃料等を内包する系統及び機器、セル等及び室並びにセル等及び 室を収納する地量は、気体強素物の廃棄施設により負圧に維持する設計 とする。	機能要求②	数据額施ガス処理設備 換気設備	設計方針(閉じ込め)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	基本設計力針	容量原動機	_	基本設計力針	基本設計方針	-	-	容量原動機
8	ブルトニウムを含む溶液及び楽レベル溶液を内包する系液及び機器。 ウランを非常針で大量に取り扱う系統、機器。 セル等及び上れらを収納する地間は、原則として、常勢角圧に保ち、それぞれの気圧は、原則として、常量品、セル等並びに、系統及び機器の順に気圧が低くなる設計とする。	機能要求②	せん斯色理・溶解媒ガス処理設備 店種類が大火制設備 店種類が大火制設備 店種類が大火制設備 店種類が大火制設備 の地理系(分離地理) の地理系(分離地理) の地理系(分離地理) に有機類が大火制設備(小・ル・セーク膜 店種類が大火制設備(小・ル・セーク膜 店種類が大火制設備(小・ル・セーク膜 店種類が大火制設機(い・ル・ル・表 が大火地制設備(か・ル・ル・表 を表現を対大火地制設備(か・ル・ル・表 を表現を対大火地制設備(か・ル・ル・表 を表現を対大火地制設備(か・ル・ル・表 を表現を対大火地制設備(か・ル・ル・表 を表現を対大火地制設備(高レベル・表 を表現を対大火地制設備(高レベル・表 を表現を対大火地制設備 を表現を対大火地制設備 を表現を対大火地制設 の を表現を対大火地制設 の を表現を対大火地制設 の を表現を対大火地制設 の の の の の の の の の の の の の	E 5 を と 2 設計が針 (閉じ込め) E 2 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	基本設計力針	容量原動機	-	-	基本設計力針	-	-	容量原動機

	T		1		ı	第1Gr			盤り Gェ	(貯蔵庫共用)			第26 = (士)	要4建屋、E施設共用)					第3G r		
項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	説明対象	申請対象設備(2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備(2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備(1項変更②)	申請対象設備(2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更③)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し工事)	仕様表
I	液体状の使用液燃料等を内包する系統及び機器を収納するセル等の束に はステンレス鋼製の端えいが定量を設置し、万一般体状の使用液燃料等 がセル等に漏えいした場合は、溜えい検伸駆置により溜えいとを検知し、 調えいの弦とが助止するととは、ステームジェッドボンブ、ボン は重力成により溜えいした液の性状に応じて定めた移送先に移送するこ とで、安全に処理できる設計とする。	機能壓少①	を持ち返生・俗称成メスとは政領 指情類度ガス処理設備(塔槽類廃ガス 処理系(分離建屋)) 2 塔博原度ガス処理系(ウラン系)	設計方針 (閉じ込め) 評価方針 (第2、いの拡大 防止・第2、地での回収能 対域を持た。第2、地での回収能 が成立の回収能力、第2、い彼の回収能力、第2、い彼の回収能力 が表する。第2、北彼の回収能 力)		-	-		-	-	-		-	基本設計方針	生出年 カカ まま 要素 おまま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま まま	-	-	基本設計力針	-	-	吐出量 聚安山 在
14	使用済燃料等を取り扱うグローブボックスは、給気口及び神気口を除き、密開することができる設計とする。	機能要求②	分離設備 分配記像 力能製設備 フルトニウム機会脱硝設備 フルトニウム機会脱硝設備 (資本の) ルトニウム機会脱硝設備 (ウラン・ブルトニウム機会脱硝設備 (内ラン・ブルトニウム機会脱硝設備 (培徒・運送の) 大田・アルトニウム機会脱硝設備 (特殊・運送の) 大田・アルトニウム機会脱硝設備 (特別・アルトニウム機会脱硝設備 財産物域が又処期設備 (ウラン・アルトニウム機会脱硝酸 地質物域が又処期設備 (サラン・アルトニウム機会脱硝	設計方針(閉じ込め)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	基本設計方針	溜えい率	-	-	基本設計力針	-	-	溜えい率
15	密封されていない使用済燃料等を取り扱うフードは、気体廃棄物の廃棄 施設の機気設備に接続することにより、関口部の風速を適切に維持する 設計とする。	機能要求②	ウラン駅硝設備(受入れ系) ウラン駅硝設備(ウラン駅硝系) ウラン・ブルトニウム混合駅硝設備 (粉体系) 分析設備	設計方針(閉じ込め)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	基本設計方針	-	-	基本設計方針	基本設計方針	-	-	1

3. 3 別紙2 機能要求②抜粋

(第11条:火災等による損傷の防止)

[2021年9月24日提出]

基本設計方針を踏まえた派付書類の記載及び申請回次の展開 (機能要求② 抜粋) (第十一条、第三十五条 火災等による損傷の防止)

						第1Gr			第 2	Gr (貯蔵庫共用)			第2Gr((主要4建屋、E施設共用)	I		I	T	第3Gr	由熱仏外乳体	
項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更③)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建 屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し 工事)	仕様表
5	大災及び爆発の影響軽減対策が必要な大災防護上重要な機器等を設置する火 災区域は、3時間以上の耐分能力を有する耐火壁(耐火循壁、耐火シール、防 火戸、防火シハ等)として、3時間耐火に変計上必要な15mm以上の増 を有する。 またが、15mmの大力では、15mmの以上の耐火能力を有す を有する。 大学区域又は大災区域のファンルには、他の火災区域では火災区域からの 増の流入防止を目的として、煙等減入防止装置を設置する設計とする。	機能要求② 設置要求	大災防護設備 火災影響軽減設 備 (欠災区域構造物) [施設共通 基本設計方針]	設計方針 (火災 区域の設定) 設計方針 (影響 破別) (第2回 以降)	0	【施設共通 基本設計方針】	-	0	-	(精能要求空) (東新雄設備 火災影 響軽減設備 (低い水原薬物処理 (低い水原薬物処理 第2低いベル廃薬物 関連する調道)	《水顶饭精造物》》 • 主要付款 • 主要材料	0	-	【極能要求②】 大災防嫌股份 (大災及機構造物) (水災及機構造物) (前处理嫌量) ウラン・デルトニウ 人路合限機能,對水所 第1保管量。對水所 第1保管量。對水所 第1保管量。對水所 面配化建盘。 間通達主名神道)	< 火災区域構造物> - 主要材料	0	「機能」 「機能」 「無能力」 「無性力」 「一性力力」 「一性力力力」 「一性力力」 「一性力力」 「一性力力」 「一性力力」 「一性力力」 「一性力力力」 「一性力力」 「一性力力」 一性力力 一性力力 一性力力力 一性力力力 一性力力 一力力 一	出入管理途屋 主排気筒管理途屋 緊急時別策建屋 ウラン脱の貯蔵建屋 ウラン酸化物貯蔵建屋 ウラン・ア・ルトラム混合酸化	-	-	< 失災区域構造物> ・主要材料
18	放射性物質を含む有機溶媒を内包する機器で加温を行う機器は、化学的制限値(nードデカンの引火点(4℃)を設定し、化学的制限値を超えて加温することがないように、溶液の温度を監視して、温度高により警報を発するとともに、自動で加温を停止する設計とする。	運用要求機能要求②	基本方針 計画制御設備 安保護回路 溶練回以設備 溶練可以設備 溶線回以設備 溶線回以設備 溶線回収設備 溶線回収設備 溶線回収設備 溶線回収設備 溶線回収設備 溶線回収設備 溶線回収設備 溶線回収設備 に が最回収設備 が最回収設備 に がより が に に に に に に に に に に に に に に に に に に	設計方針(発生 防止) 基本方針(火災 防護計画)	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	基本方針	< 幹別 ★計測 ・検測 ・機関 ・・計算 ・・計算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Δ	_	基本方針	-	-	<計測装置> ・検出器をの種類 ・特別の種類・ ・管限が中ロック> ・設定的に要する信号 ・起動に要する信号 ・起動に要する信号 ・起動に要する信させない条件
22	使用済有機溶媒の蒸発及び蒸留を行う機器は、有機溶媒へ着火するおそれの ない可燃阻機外で有機溶媒の処理を行う設計とするとともに、廃ガスには不 活性ガス(窒素)を注入して排気する設計とする。	機能要求②	基本方針 計劃制御設備 溶媒回収設備 溶媒処理系	設計方針(発生 防止)	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	基本方針	-	-	〈計測装置〉 ・検出器配種 ・計測範節 ・計測範節 ・学報ンを ・設定 ・起動に ・起動に ・起動 ・起動 ・起動 ・起動 ・起動 ・ に が に に ら に ら の に ら の に ら の に ら の に の ら に の の に の の ら の ら
24	外部ヒータを適切に制御するとともにその内部温度を測定し、運転状態を監視し、温度高により外部ヒータ加熱及び廃溶媒供給を停止する設計とする。	機能要求②	基本方針 計劃制御設備 廃溶媒处理系	設計方針(発生 防止)	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	基本方針	-	-	〈計測器配種類・検測器配種 ・ 輸測器配種 ・ 警報の種類・ 事報の地に 中面 ・ 予報の ・ を動し、 ・ を動し、 ・ を動し、 ・ を動し、 ・ を付ける ・ ・ ・ を付ける ・ ・ ・ ・ を付ける ・ ・ ・ ・ を付ける ・ ・ ・ を付ける ・ ・ ・ ・ ・ を付ける ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
25	熱分解ガスを機能する装置は、その内部温度を測定し、機能状態を監視し、 温度低により熱分解装置への廃溶媒供給を停止する設計とする。	機能要求②	基本方針 計劃制御政備 废溶媒処理系	設計方針(発生 防止)	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	基本方針	-	-	<計測装置 ・検出器師 ・警報の種類 ・警報かり施師 ・警報かり施可 ・必要 ・・を発信させない せない
29	TBP等の創作の急激な分解反応のおそれのある機器には、熱的制限値(加熱蒸気の最高温度136°C)を設定し、濃縮缶等の助熱部に供給する加熱蒸気の温度を加熱変のの圧力にとり前側し、温度計により監視し、温度高により管機を発するとともに、加熱蒸気の温度が設定値を超えないために、蒸気発生器に供給する加熱蒸気を自動で運削する設計とする。	機能要求②	基本方針 計書機構図路 分全級機関回路 分分級機関 製設備 受した。 対象と 対象と 対象と 対象と 対象と 対象を 対象と が ので が ので が ので が ので が ので が ので が ので が の	設計方針(発生 防止)	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	基本方針	<計劃技器の開発を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	Δ	-	基本方針	-	-	(計測装置を ・検制測整の種 ・計解影の種 ・計解影の権用・ ・経定動に関すって、 ・設定動に要すって、 ・起動動に ・起動い条件 ・せない。
32	また、その他再処理設備の附属施設の圧縮空気設備から空気を供給(水素粉気)する設計とする。	機能要求②	基本方針 安全圧縮空気系 所幹解設 前背側或領 分類整理 一時貯留処理設備 分類整理 一時貯留処理設備 分類整理 一時貯留処理設備 分類整理 一時貯留処理設備 方物整度回収設系 ラシン溶成系。 ラシン溶成系。 高レベル療網廃液貯藏系 不溶解残液貯藏系 末上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、	設計方針(発生 防止)	-	-	-	-	-	-	-	Δ	-	基本方針	<圧縮機> ・容量	Δ	-	基本方針	-	-	<圧縮機>・容量
35	運転で水素ガスを使用する股網施設のウラン・ブルトニウム混合股網設備の 速元炉は、化学的制限値(速元用室素・水素混合ガス中の可燃限界濃度ドラ イ換算6.4vo 1%)を設定し、速元形・供給する速元用室素・水素混合ガス 中の水素濃度を測定し、速元用室素・水素混合ガスが空気といかなる混合がよ においる可燃限界濃度未満」なるように設計する。万一、水素濃度が設定 低を超える場合には、速元炉への速元用室素・水素混合ガスの供給を自動で 停止する設計とする。	機能要求②	基本方針 計劃制御設備 對金保護回路 愛元ガス供給系	設計方針(発生 防止)	_	-	-	-	-	-	-	Δ	-	基本方針	< 計測装置 2 種類・ ・検出器の種類・ ・計測範囲 ・警報か毎回第一章を ・登録が ・記を動に要する信号 ・記し、 ・記し、 ・記し、 ・記し、 ・記し、 ・記し、 ・記し、 ・記し、	Δ	-	基本方針	-	-	〈計測装置 検出器の種類 計測機能 ・ 整理動作範囲 ・ 公との ・ 記動に要する信号 ・ 起動に要する信号 ・ 起動信号を発信させない条件
100	(1) 消火設備の消火剤の容量 消火設備は、想定される火災の性質に応じた十分な容量として、消防法施行 規則、又は試験により確認した消火剤容量を配備する設計とする。	機能要求② 評価要求	大災防護設備 消火設備 (ハロゲン化物消火設備 (ハロゲン化物消火設備 (馬所)、投資機(馬所) を、利利の監視 (場所)、投資機 (場所)、投資機 (場所)、投資機 (場所)、投資機 (場所)、投資機 (AZ) 電動駆動消火ボンブ(AZ))	設計方針(火災の消化) の消化) (大災の消化) (大災の消火、火災の消火、)	0	-	-	-	-	-	-	0	【機能要求②】 大災防護發觸 消火部 (消火水供給設備)	- (集機能要求の) (機能要求の) (機能要能) (機能)	《容器量数 《容器量数 管厚 本本配経 ・外 ・選種種	0	【機能要求②】 大災防護設備 消火設 億 (ハロゲン化物消火 定価 (局所) 定職 (場所) (ケーブルトレ・消水設備、(場所) (オーブルトル・消水設備、(場所) (オーブルトル・消水設備、(場所) が関係、(場所) が関係、(場所) が開始を発情が発生。 大きない。 は、(場所) は、(場所) が、(大きない) は	二酸化炭素消火設備 ハロゲン化物消火設 備(局所) (ケーブルトレイ消火 設備,電気盤・制御盤 消火設備) 消火水槽 (AZ)	-	-	《容器量数 > 容容素数 管容本 主軽性 / シさ > から * を を を を が * を を が * を

基本設計方針を踏まえた添付書類の記載及び申請回次の展開 (機能要求② 抜粋) (第十一条、第三十五条 火災等による損傷の防止)

						第1Gr			第20	Gr (貯蔵庫共用)			第2Gr (要4建屋、E施設共用)					第3Gr 申請対象設備	申請対象設備	1
項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更③)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建 屋に係る施設)	中請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し 工事)	仕様表
101	消火用水供給系の水源は、消防法施行令及び危険物の規制に開する規則に基 づくとともに、2時間の最大放水流に対し十分な容量を有する設計とする。 また、緊急時対策延慢が水流消消防法施行では基づくとともに、2時間の 最大数水量に対し十分な容量を有する設計とする。	機能要求②	火災防護設備 消火設備 (消火用水貯槽 方週水貯槽 消火水槽 (AZ) 防火水槽 (AZ)	設計方針 (火災 の消火)	1	-	-	-	-	-	-	0	【機能要求②】 大災防護設備 消火設 備 (消火用水貯槽) る過水貯槽)	-	<容器> ·容量	0	-	【機能要求②】 大災防護設備 消火設 備 (消火水槽 (AZ) 防火水槽 (AZ)		-	<容器> ·容量
102	(2) 消水設備の系終構成。	設置要求	大災防護設備 消火設備 (消火用水貯槽 う週水貯槽 (消火水件 (A2)) (電動機製動消火ポンプ でチャーゼル駅前火ポンプ 電動駅動消火ポンプ 電動駅動消火ポンプ 電動駅動消火ポンプ	設計方針 (火災の消火)	0	(【機能要求®】大股 人災(特決用本人股 海熱大野市、超 海水野市、超 海水野市、超 海水野市、 で で イマゼル関係 で インプロン で で インプロン で が で が で が で が 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大	-	-	-	-	-	0	【機能要求②】 火災防護変値 備 行火用火貯槽 充過水貯槽 電動機駆動消火ポンプディーゼル駆動消火ポンプ プィーゼル駆動消火ポンプ	-	< 容器 >	0	-	【機能要求②】 大災防譲設備 消火大装防譲設備 (消火水槽 (AZ) 協力水・標 (AZ) 電動駆動消火ポンプ (AZ))	-	-	< 容器> < 容器
129	a. 3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離 系統分離し配置している最重要変像となる安重物能を有する機器等は、火災 耐火実験により3時間以上の耐火能力を確認した、隔壁等で系続間を分離す る設計とする。	設置要求 機能要求② 評価要求	【施設共通 基本設計方針】 大災的護設個 大災影響軽減設 (火災区域構造物) 耐火陽壁	設計方針(影響 軽減) 評価方法(影響 軽減) 評価(影響軽 減)	0	基本方針	-	-	-	-	-	0	-	耐火隔壁 【機能開墾求②】 大災移軽減設備 (火災な軽減20個 (火災な速量 ク離準量 力と配荷調整 一大工行動を 一大工行动 一大工行 一大工行 一大工行 一大工行 一大工行 一大工行 一大工行 一大工行 一大工行 一大工行 一大工行 一大工行 一工行 一工 一工	《火災区域構造物》 •主要寸法 •主要材料	0	-	耐火隔壁 【機能要求②】 火災防護設備 火災 (大災区域構造物) (有製軽量・分混合酸化 物的計蔵基量・分混合酸化 物的計蔵基量 関連する両道)	-	-	《火災区域構造物》 ・主要寸法 ・主要材料
130	b. 水平距離6m以上の離隔距離の確保,火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 設置による分離 正、に間違する系列の最重要設備は、水平距離間には仮置きするものを含め 可能が存在しないようにし、系列間を6m以上の離隔距離により分離 する設計としない。火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統 間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	【施設共通 基本設計方針】 大災防護設備 大災感知設備 大災防護設備 対火電備 (ハロゲン化物消火設備)	設計方針(影響 軽減)(第2回 以降)	0	基本方針	-	-	-	-	-	0	-	(大災防護設備 大災 感知 報節 要求空] 大災防護設備 大災 「機能要求空] 大災 (下) は が 大災 (下) が 大災 (下) が 大災 (下) が と (大戦 下) が 大 (大戦 下) が 発生屋 ブルト 上 ウム混常用といる (下) が 大いた 国際 (大戦 下) が 大戦 (大戦 下) が (大戦 下)	-	0	-	大災艦 大災感 水災災 (編 大災 (-	-	〈容器〉 ・容量 ・容量 ・本配管> ・外径、厚さ
131	c. 1時間耐火隔壁による分離、火災感知設備及び自動消火設備の設置によ る分離 及びに相違する系列の最重要設備を1時間の耐火能力を有する隔壁で分離 し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系続間を分離す る設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求② 評価要求	【施設共通 基本設計方針】 1時間耐火隔壁 大災防護設備 火災感知設備 大災防護設備 内火設備 (ハログン化物消火設備) (ハログン化物消火設備) (ケーブルトレイ消火設備) 電気整・制御整消火設備)	設計方針(影響 軽減(加方法(影響 軽減(加度) (影響軽 減)		基本方針	-	-	-	-	-	0	-	(1時間耐火爆火火災感火火災感火火災感火火災感火火災感火火災感火火災感火火災感火火災感火火	-	0	-	非時間耐火原隆 火災 感 原	-	-	< 容器> ・容数 ・本数 <主配管> ・外径、厚さ
133	b. 制御室床下コンクリートピットの影響軽減対策 制御資底ドコンクリートピットに関しては、敷設する互いに相違する系列の ケーブルについては、1時間以上の耐火能力を有する分離板又は障壁で分離 する設計とする。 また、固有の信号を生する異なる種態の火災感知器を組み合わせて設置し、 大きた、個有の信号を生する異なる種態の火災感知器を組み合わせて設置し、 分割等3分割を行ってきる設計とする。 対割を対しています。 対割を対しています。 大きな計しています。 なお、最重要設備には該当しないが使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の 制御家についても同等の設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求② 評価要求	【施設共通 基本設計方針】 1時間耐火隔壁 (分離板) 以实防建設備 火火吸防建設備 火火防建設備 水火吸防速设備 火火防速设備 (水下液 (物)消火设備 (床下液 火放偏(手動)))	設計方針 (影響 軽減) 評価方法 (影響 軽減) 育 減)		-	-	-	-	-	-	0	-	【施設共通 基本設計方針】	-	勘次知少值影(1時間耐火隔壁(分離 板) 数 火災防護設備 火災感 知設備 【機能要求②】 火災防護設備 消火設 備		-	〈容器〉 ・容量 ・ 容量 ・ 本数 〈主配管〉 ・ 外径、厚さ

3. 4 別紙2 機能要求②抜粋

(第38条:臨界事故の拡大を防止するための設備)

[2021年9月30日提出]

項目 番号 基本設計方針 要求種別	主な設備	展開事項	説明対象	第1G r 申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	第2G 申請対象設備 (1項変更①)	r (貯蔵庫共用) 申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	第2Gr (主要 申請対象設備 (1項変更②)	要4雄屋、E施設共用) 申請対象設備 (2項変更③) 仕様表	説明対象 申節 (1	清対象設備 申請対象設備 項変更③) (2項変更④)	第3 G r 申請対象設備 (別設工設① 第2ユーティリティ建屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り雕し工事)	仕様表
代替可溶性中性子吸収材類急供給系は、代替可溶性中性子吸収材解急供 給部階の脂肪種知用控制機使制器において脂界事態の発生を利定した場 され、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	【前処理様屋】 ○設計基準対象の施設と兼用しない主 医療計基準対象の施設と兼用する主配 で 高級事業 の では 一次 のでは 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	ተታያተ	-	-	-	-		-	-	0	-	(主統等) ・取信所所・最然使用圧力度 ・外径・厚さ ・取信所所・最然使用圧力度 ・外径・厚さ ・主要(中) ・現前性所用工度 ・現前性所用工度 ・現前性所用工度 ・工業等が上 ・電動力法 ・電動力法 ・電動力法 ・電影力法 ・電影力法 ・溶解治 ・経動性の関係を対象を対象を ・経費可能性中性子吸収材類を供給 ・別を使用圧力度 ・溶解の関係 ・溶解の関係 ・溶解が ・ 環境を対象を ・経費可能性・性子吸収材類を供給 ・ 最新使用圧度 ・ 大き可溶性中性子吸収材類を供給 ・ 表解性用圧度 ・ 表解性用圧度 ・ 表解性 ・ 表述	-	-	-	-	-
代参可溶性中性子吸収材無急供給系の代替可溶性中性子吸収材無急供給 博には、水塩素に移行するために必要な可溶性中性子吸収材を内包でき 過能要求② る設計とする。	【前処理地屋】 〇時槽 、代替可溶性中性子吸収材類急供給槽 及2	十方針	-	-	-	-	-	-	-	0	-	《容器》 - 個類 - の影神 - 化替可溶性中性子吸収材緊急供給槽 A、B - 工廠等 - 工廠等 - 工廠等 - 工廠等 - 工廠等 - 工廠等 - 取給等力法 - 工廠等 - 取价商所	-		-	-	-
代替可溶性中性子吸収材緊急供給系は、代替可溶性中性子吸収材緊急供 給削階の腐解検知用放射線検出器により、臨界事故が発生したとを条件と は、直接を受力と昇を検知し、臨界事故が発生したことを条件と し、直が直路上の多年間かすることにより、自動で臨界事故が発生し た機器に、重力減により可溶性中性子吸収材を供給し、10分以内に可溶 性中性子吸収材の供給が発了できる設計とする。	【前処理地配】 ○設計基準対象の施設と兼用しない主 起管 ・設計 ・溶解 ・溶解 ・溶解 ・溶解 ・ 作物可溶性中性子吸収材類急供給异 ・ 代報可溶性中性子吸収材類急供給异 ・ 代報可溶性中性子吸収材類急供給 ・ 代報可溶性中性子吸収材類急供給 ・ 化報可溶性中性子吸収材類急供給 ・ 冷解槽 A, B	十万針	-	-	-	-	-	-	-	0	_	- 取付額所 - 最後所用用丘皮 - 最後所用用丘皮 - 全華契料 - 全華契料 - 全華契件 - (主要対外 - (主要対外 - (主要対外 - (主要対外 - (主要対対) - (主要対対) - (主要対対) - (主要対対 - (主要対対) - (主要対対 - (主要対 - (主要 - (主要対 - (主要 - (主要 - (主要 - (主要 - (主要 - (主要 - (主 - (主要 - (主 - (主要 - (主 - (主 - (主 - (主 - (主	-	-	-	-	-
5 また、弁を多重化すること等により、臨界事故時に確実に可溶性中性子 模数材を供給できる設計とする。	【前処理地版】 の設計基準対象の施設と兼用しない主 配管 の設計基準対象の施設と兼用する主配 管 溶解設御 ・代幹均溶性中性子吸収材類急供給。 の計 の計 ではずが性中性子吸収材類急供給機 ・代幹均溶性中性子吸収材類急供給機 ・代等均溶性中性子吸収材類急供給機 ・溶解槽 A, B	十分針	-	_	-	-	-	-	-	0	-	 本事報答 >	-		-	-	-
(で替可溶性中性子吸収材緊急供給系の代替可溶性中性子吸収材緊急供給 情は、化学基品を内包するため、化学基品の備えい頭とならないよう設 計することとし、具体的には適切な材料を選定し、耐酸性を体保し及び 機能要求② 無操作による漏えいを初止できる設計とする。	【前処理地屋】 ①貯槽 ・代替可溶性中性子吸収材緊急供給槽 及え	十方針	-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前处理地程】 〇町槽 - 代替可溶性中性子吸収材聚急供給槽 A、B 基務使用压定 主要材料	-		-	-	-
代替可溶性中性子吸収材緊急供給系の代替可溶性中性子吸収材緊急供給 情は、臨界率故が発生した機器を未確解に移行するために溶使中性手吸 溶性中性子吸収材能が出て中電は十分水を含まったが高液性や作子吸 収材を内包できる設計とし、前処理建能に必要な系列数を設置する設計 とする。	【前处理地屋】 ①的槽 ①的槽 A、B	十方針(個数及び容	-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前处理地配】 〇珍楼 一代替可溶性中性子吸収材聚急供給槽 A、B	-		-	-	-

	(機能要求②	抜粋)
(第三十八条	臨界事故の拡大	を防止するための設
(代替	可溶性中性子吸收	2材緊急供給系)

Г						第1Gr			第2Gr	(貯蔵庫共用)			第2Gr(主要	要4 建屋、E施設共用)				第3 G r		
1	項目 各号 基本設計力針 要:	種別 主な	設備	展開事項	説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備(2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)		説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し工事)	仕様表
14	また。可能性中性子吸収材は硝酸ガドリニウムとし、その濃度は硝酸ガドリニウムの溶解度に十分な余裕を特たせ、約150 $_{ m g}$ ・ $_{ m G}$ $_{ m d}$ $_{ m L}$ $_{ m L}$ 七十 $_{ m G}$ 。 機能能	【前处理塘屋】) (P)槽 (代據可溶性中性子 A、B	子吸収材緊急供給槽 3	设計方針(個数及び容 趾)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前処理陰配】 ○的槽 ・代替可部性中性子吸収材緊急供給槽 ・主要材料 A、B	_	-	-	-	1	-
14	代替可溶性中性子吸収材緊急供給系は、臨界事故の発生を仮定する機器 でとに、重大事故等への対効に必要な設備を確保する設計とする。	常解設備 ○代替可溶性中性子 ○貯槽	施設と兼用する主配	段計方針(個数及び容量)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前処理独展】 (図計 基準対象の施設と兼用しない主 配管	-	-	-	-	-	-

					第1G r	T		第2Gr	(貯蔵庫共用)		1	第2Gr(主	要 4 建屋、E施設共用)	1			第3Gr		
項目 番号	基本設計方針 要※	文種別 主な設備	展開事項	説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更③) 仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更③)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し工事)	仕様表
重大事故時可溶柱中性生型 対保治回路の臨界検知が発 た場合に、臨界事故が発 で重力減により供給でき	吸収材供給系は、重大事故時可溶性中性子吸収 放射線機出源において臨界事実の発生を判定し 生こた機器に対して可溶性中性子吸収材を自動 機能等 る設計とする。	「前の思想版」 「設定基準対象の施設と乗用しない主 経管 が表現機 の設定とは、一般の表現を を表現機 の主 を表現機 の主 を表現機 の主 を表現機 の主 を表現機 が表現機 が表現機 が表現機 が表現機 が表現機 が表現機 が表現機 が	n da da	-	-	-	-	-	-	-	0	-	前の環性度 の設計基準対象の施設と兼用しない主 配管の設計基準対象の施設と兼用する主記 等が設定値。 の高上率放動時可能性中性子吸収材供給 がエンドビース酸洗浄槽用)。 の重工率放動時可能性中性子吸収材供給 がないた洗浄槽用)。 の情報・一般ない洗浄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-	-	-	-	-	-
重大事故時可溶性中性子 技能槽には、米服界に移 できる設計とする。	吸収材供給系の重大事故時可能性中性子吸収材 付行するために必要な可能性甲性子吸収材を内包 機能度	【前処理建屋】 ①射槽 ・重本率故時可溶性中性子吸収材供給 構A、B (エンドビース酸定治槽用) ・重本率故時可溶性中性子吸収材供給 槽A、B (ハル洗浄槽用)	設計力針	-	-	-	-	-	-	-	0	-	「前処理堆屋」 「前処理堆屋」 「前処理堆屋」 「直本事故時可溶性中性子吸収材供給 情報。 B (エンドビース酸洗浄槽用)	-	-	-	-	-	-
重大事故時可溶性中性子 材供給物質の臨身料如用 構造の必要学の上非を集中の上非を 生した機器に、重力減に 可溶性中性子吸収材の供	吸収材供給系は、重大事故時可溶性中性子吸収 放射線機器事能が見たとも物を が対線機器事態としたも物を が発生したも物を より可溶性中等子吸収材を供給し、10分以内に 結が完了できる設計とする。	(前条別性別) (設計基準対象の施設と兼用しない主 経管 大学・ (記述基準対象の施設と表明する主 管 (記述基準対象の施設と表明する主 管 (記述基準) (記述事業 (記述書述書) (記述書) (記		-	-	-	-	-	-	-	0	-	(前の類性類) (金融等) (金融等) (金融等) (金融等) (金融等等) (金融等) (金融等等) (金融等) (金	-	-	-	-	-	-
28 また、弁を多重化ナるこ 吸収材を供給できる設計	と等により、臨界事故時に確実に可溶性中性子 機能を		設計方針	-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前処理建屋】 (東京学校時・可答性中性子母校材供給 ・ 大学校時・7、機能治神用) ・ 企業・被助・1の機能治神用) ・ 企業・校 ・ 企業・校 ・ 企業・校 ・ 企業・校 ・ 企業・校 ・ 企業・校 ・ 企業・ ・ を ・ 企業・ ・ を ・ 企業・ ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・	-	-	-	-	-	-
31 供給槽は、化学薬品を内 う設計することとし、具	吸収材供給系の重大事故時可溶性中性子吸収材 切包するため、化学薬品の端えい頭とならないよ 体物には適切な材料を選定し、耐酸性を確保し 機能等 を防止できる設計とする。	「前毎児地居」 ○日付 ・ 重大率故時可溶性中性子吸収材供給 槽A、B(にンドビース酸洗沖槽用) ・ 重工事故時可溶性中性子吸収材供給 槽A、B(ハル洗沖槽用)		-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前の理地型】 ・ 直水事故時可溶性中性子吸収材供給 (-	-	-	-	-	-
供給機は、臨界事故が発	受収材供給系の重大事後時可溶性中性子吸収材 生した機器を名鑑別は終行するために必要とな に対して容能上が今公常を有して可修性中性 機能等 計とし、前処理地間に必要な系列数を設置する	(前条頭壁屋) (日)時 ・重大事故時可溶性中性子吸収材供給 槽A、B(にンドビース酸洗浄槽用) ・重大事故時可溶性中性子吸収材供給 槽A、B(パル洗浄槽用)	記録 (個数及び容量)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前の理量量】 ・ 日本事故時可溶性中性子吸収材供給 権A、B (ハンドピース酸洗浄槽用) ・ 直工事故時可溶性中性子吸収材供給 権A、B (ハル洗浄槽用) ・ 音量 ・ 容量 ・ 容量	-	-	-	-	-	-
36 また、可溶性中性子吸収 ドリニウムの溶解度に十:	i材は網酸ガドリニウムとし、その濃度は硝酸ガ 分な余箱を特たせ、約150g・Gd/Lとする。 線能等	【前処理建置】 ①貯槽 ・直本率故時可溶性中性子吸収材供給 槽A、B(エンドビース酸洗伸槽用) ・直本率故時可溶性中性子吸収材供給 槽A、B(ハル洗浄槽用)		-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前処理地屋】 ②射槽 ・直本事故時可溶性中性子吸収材供給槽A、B(エンドビース酸洗浄槽用) ・直本事故時可溶性中性子吸収材供給槽格、B(エンル・大・一般洗浄槽用) ・主要材料・主要材料	-	-	-	-	-	-
重大事故時可溶性中性子 器ごとに、重大事故等へ	・吸収材供給系は、臨界事故の発生を仮定する機 機能等 の対気に必要な設備を確保する設計とする。	【前処理地照】 ①設計基準対象の施設と兼用しない主配管 公課計基準対象の施設と兼用する主施 「企業計算性がない。 「一直大事故時可溶性中性子吸収材供給 がたいたが時間別 の情報 が成功が時間別 の情報 が成功が時間別 ・重大事故時可溶性中性子吸収材供給 構入」をしてシドビース機能待側別 ・重大事故時可溶性中性子吸収材供給 構入」をレンドビース機能待削 ・エンドビース機能待側 ・エンドビース機能待削 ・エンドビース機能待削 ・エンドビース機能待相 ・エンドビース機能待相 ・エンドビース機能待相 ・エンドビース機能	設計方針 (個数及び容量)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前処理地屋】 ①設計基準対象の施設と兼用しない主 配管 医療 施	-	-	-	-	-	-

福日				第1Gr			,,, <u> </u>	(貯蔵庫共用)				及4 建屋、E施設共用)				3	3 G r	ch 24 4+ 62 20 Mb	=
項目 基本設計方針 要3	大種別 主な設備	展開事項	説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更③)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し工事)	仕様表
	○代替可溶性中性子吸収材緊急供給回 路 ○重大事故時可溶性中性子吸収材供給 回路										-	-	-			○代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路 ○重大事故時可溶性中性子吸収材供給 回路	-	-	<インターロッ ク> ・設定値
	○重大事故時供給停止回路									-	-	-	-			○重大事故時供給停止回路	-	-	<インターロッ ク> ・設定値
代等可溶性中性子吸収材緊急供給回路又は重大事故時可溶性中性子吸収 材料能回路により臨腎事故の発生を削さした場合者しくは重大事故時供 治外に回路により丁BP等の機体の急廉な分所なの発生を判立た場 合に、廃が水貯留設御の廃が水貯留槽に放射性物質を増出するため、廃 水貯留設御の隔離今を自動散するともに能力水貯留槽の支払いてはせん 断処則。溶解が大処難と減で減をきを持ちため、当該系能とないてはせん 断処則。溶解が大処難と強度な経を置断するめ、当該系能とが 弁を自動門止する設計とする、精製建配においては精管地屋持衛期度が 久地規定機の時間を超が大場を発展、(アルトニックス)。の流路を全断する	【前処理地陸】 ○整女正網機 ○廃ガッ計管設備の隔離弁 ○成ガッ計管設備の隔離弁 ○成ガッ計を (電子) (電子) (電子) (電子) (電子) (電子) (電子) (電子)	計方針	-	-	-	-	-	-	-	0		【前処理址层】	〈圧縮機〉 ・種類 ・取付場所 ・容要・ ・主要・ ・主要材料	0	-	【特製速量】 ○空気圧縮線 (特製速品等槽筋度ガス処理設備等槽			《圧縮類 · 取付 · 取付 · 取付 · 要求 · 取付 · 多主要 · 取价 · 全主要 · 取价 · 全主要 · 要取付 · 全要 · 要取付 · 。 · 取价
ため、当該系統上の隔離弁を自動門止するとともに排棄機を自動停止する設計とする。	【特製法型】 ○空気証明課 ○空気証明課 ○特数性医療情報版ガス処理設備等情報版ガス処理系(プルトニウム系)の 対風機 ○廃ガメト管研設機の隔離弁 ○廃ガメト管研設機の隔離弁 ○存数を担害情報が大利配貨機等情 知度ガメ処理系(プルトニウム系)の 隔離弁										-	○空気圧縮機 ○魔ガス貯電設備の隔離弁 ○世人斯処理・溶解廃ガス処理設備。 隔離弁	· 原要轉換 · 原要轉換 · 原要轉換 · 主種領取 · 是最新 · 是最高。要要 · 是最高。要要 · 一 · 是主要 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下			顕確ガス処理系 (ブルトニウム系) の 排風機 ○底ガン貯留設値の隔離弁 ○精製建屋排槽施度ガス処理設備非構 顕度ガス処理系 (ブルトニウム系) の 隔離弁		_	·原數機 〈主觀幹〉 ·種類 ·取信場所 ·取信使用區 ·取信使用區 ·最高等 ·取信等 ·表表表 ·表表表 ·表表表 ·表表表 ·表表表 ·那數 / / / / / / / / / / / / /
	【特契法回】 ○設計基準対象の施設と兼用する主配 ②設計基準対象の施設と兼用する主配 ②・特製製服等槽面板ガスを到設倫路槽 期廃ガ及提系(アルラク系) ・特製服服機気設備 ・ウラン・ブルトニウム混合配硝建屋 機気設備 ・付製製服器・槽筋度ガス処理設備等槽															【精製抽配】 の設計基準対象の施設と業用する主配 ・精製抽配等構施度が入処理設備影構 部構造が必要素でグルトニウム系) ・精製量組織な設備 ・ウラシ・ブルトニウム派会駅増塩 均気空備 の精製組配排槽配度が大処理設備 の精製組配排槽配度が大処理設備等機			《主配管》 ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・外径・財料 〈容器類 ・種類
TBP等の結体の急速な分解反応が発生した際に精製地屋店標面度ガス 処理度備の原轄面積ガス処理系 (ブルトニウム系) の度ガスボットから セル・弾出るの数性性処理については、精製生態設定備の少計域 境能等 フィルタユニットにより除去し、主接気筒を介して大気中へ放出する設 計とする。	類廃ガス処理系 (ブルトニウム系) の 廃ガスポット ○精製建屋換気設備のセル排気フィル	計方針	-	-	-	-	-	-	ı	-	-	-	-	-	-	類能ガス処理系 (ブルトニウム系)の 被ガスポット ○ 特製建屋検収設備のセル排気ブィル クエニット ○ 特製建屋検収設備のグローブボック ス・セル排風機	-	-	- 個級数場所 ・取高高等数場所 ・主要を ・主要を ・主要を ・ 1 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 4 ・ 4 ・ 4 ・ 5 ・ 5 ・ 5 ・ 5 ・ 6 ・ 6 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8
	○主排気筒															○主排気筒			字音量要寸法と ・主要動計 ・原設計 ・原設計 ・原設 ・主要動計 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	【前処理地屋】 ○政計基準対象の施設と兼用する主配 官・記録を理対象の施設と兼用する主配 日本の設計基準対象の施設と兼用しない主 記書を書きるの施設と兼用しない的 情度が自留者 ○交社延縮機 ○佐好工能調設備の隔離弁 ○佐好工能調設備の隔離弁 ○佐好工的調設備の隔離弁 の機力を制理と認識を開始。												〈主配管〉 ・最高使用圧力 ・最高を・原料 ・外径・原さ ・主器〉 ・種類			【特契地位】			(主配管) ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・外径・厚さ ・主要材料 (容器)
施ガス中部設備の施ガス貯留槽への放射性物質の専出においては、重大 事故が発生した機器から放射性物質をもた気体が、せよ用地理・溶射施 する処理があまった。 イルトニウム系)を通じて大気中・促出されるよりも見る、せん断位 理・溶解能力が必要理解では対象を重影情が変化が表現を対しまれる。 が必理系(ブルトニウム系)の減路を運動干があることで専出することと し、具体的におりつ気内で両出するを設計してる。その後の数でが 密催化での呼吸に当たっては、放射性動質をむり気体が未到部からセル に関出されことがないよう。	○設計基準対象の施設と兼用する主配	計方針	-	-	-	_	-	-	-	0	-	【前処理連結】 (一設計基準対象の施設と乗用する主意 管・ せん勝処理・溶解度ガス処理設備 の設計基準対象の施設と乗用しない。 (一設計基準対象の施設と乗用しない。 ・ 施ガスト間の ・ 変ガスト間の (一定気圧縮機 (一定気圧縮機	・個数場所 ・個取容量高度使用 ・最最更要材料 ・主組額類付場 ・主組額類付場所 ・政会量	0	-	○設計基準対象の施設と兼用する主品 ・精製建屋塔槽類成ガス処理級備塔槽 新成ガル処理系(ブルトニウム系) ○設計基準対象の施設と兼用しない主 ・ 版ガス貯留槽 ・ の文気圧縮吸 ・ の交気圧縮吸 ・ で気圧縮吸 ・ できな圧縮吸 ・ できるに変したが ・ できるとできるに変したが ・ できるに変したが ・ できるとできるに変したが ・ できるに変したが ・ できるとできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	-	-	・種級が場所 ・最高度 ・最高度 ・最高度 ・最高度 ・最高度 ・最高度 ・最高度 ・最高度
に専出されることがないよう。圧力を制飾する設計とする。	* 特数独担标槽额版ガス処型放棄培 類筋が必要系(ゲルト・ウル系) ○設計基準対象が監設と兼用しない主 配管 ○設計基準対象が監設と兼用しない貯 槽 成プエド回槽 ・ 佐丁正回槽 ・ 佐丁正回標 ・ 佐丁正回標 ・ 佐丁本原理 一 ・ 「 ・ 「 ・ 「 ・ 佐丁本原理 一 ・ 「 ・ 「 ・ 「 ・ 「 ・ 「 ・ 「 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一											○廃ガス貯留設機の隔離弁 ○吐人斯処理・溶解廃ガス処理設備。 隔離弁	・主要 計 ・主要 計 ・主要 計 ・主要 計 ・原本 ・ 原本			類底ガス処理系(ブルトニウム系)の 排風機 ○底ガン計留設値の隔離か ・情報機能が増加能ガス処理設備指 額能ガス処理系(ブルトニウム系)の 隔離弁			· 最主要解析 (基本) 表示 (基本)
落ガス貯留設備の廃ガス貯留槽の圧力が再定の圧力に達した場合、中央 制御資からの操作により、北人那色度、治解度ガス地高度値(大は精製建 発表情報度でなめ監督(企の影響度ガス地景度)、(グルとコウム)、の所	【前処理地屋】 ○政計基準対象の施設と兼用する主配 管 七. MP地理・前等級ガス処理設備 ・ セン部処理・高等級ガス処理設備の 接継 優 〇 せん斯処理・高等級ガス処理設備の 隔離弁											【前処理地隔】 ②設計基準が築の施設と兼用する主 2. せん振松県。 溶解原が火処理設備	十悪十法			【精製雑配】 ○政計 基準対象の施設と 兼用する主配 等 ・精製量単新槽配度 バンル空設 報告槽 部度 ガンル型定 保証 イブルトンランル型定 報用権 部度 ガンル型定 化原料 部度 ガンル型 プレトニックム系)の			(主配高管を用用に ・最高高値を対 ・発電の ・外生 ・外生 ・原本 ・原本 ・原本 ・原本 ・原本 ・原本 ・原本 ・原本 ・原本 ・原本
田藤博物館グス处理運像の影情物度ガス処理系 (ブルトニウム系)の解解を信敵と、七人の大人系 開本を信敵と、七人所処理。 他解解第2 外型環境は計算物程度接触 ガン処理設備の塔博物度ガス処理系 (ブルトニウム系)の排風機を起動 する。	東東② 【精製地原】 ○設計集階対象の施設と兼用する主配 管 報題を持備販送力へ処理企場等 ・ 確分を必要。(クルトニールの変換等特 ・ 一般を必要。(クルトニールの変換等特 ・ 一般を表現を特別を表現を ・ 一般を表現を ・ 一般を表現を ・ 一般を表現を ・ 一般を ・ 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を	計方針	-	-	-	-	-	-		0	_	・せん斯松男・溶解魔ガン処理設備 の世人斯松男・溶解魔ガン処理設備 排風機 が風機 のせん斯松男・溶解魔ガス処理設備。 (補離弁	・設計上の空気	0	-	○精製差型排槽販度ガン処理設備時度 部度ガン処理。 (ブルトニウム系) の 排風機 が通常が が が が が が が が が が が が が が	-	_	- 王

別紙 2

				第1Gr		1	第2G r	(貯蔵庫共用)		1	第26 r (主	要4建屋、E施設共用)				第3 G r		
項目 番号 基本設計方針 要求種	重別 主な設備	展開事項	説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備(2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備(1項変更②)		土様表 説明	対象 申請対象 (1 項変更	(備 申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し工事)	仕様表
せん斯地理・溶解能ガス地理配偶又は特製建風塔槽類能ガス地理設備の 培養類能ガス地理系(ブルーニッシ系)の外風機を登出した場合にかった。 では、サービー・アンタス)の外風機を登出した場合でかった。 では、サービー・アンタス)の外風機を発力が設定を表する。 では、サービー・アンタスでは、サービー・アンタスでは、 では、サービー・アンタスでは、アンタスでは、 を要求 と地理設備の比較機能ガン地理系(ブルトニウム系)への放射性物質の 建筑が生じない設計とする。	【前処理建居】 ○逆止弁 【精製建居】 ○逆止弁	設計方針	-	-	-	-	-	-	-	0	-	(主要推定 - 種類 - 種類 - 遊生弁 - 遊点 - 遊高 - 主要 - 主要	情場所 (使用圧力 (使用温度	-	【特製地區】 ○逆止弁	-	-	《主要弃》 • 種類 • 個数 • 取付場所 • 最高高使用压力 • 是高高使用选 • 主要材料
廃ガス貯留設備の廃ガス貯留槽については、臨界事故の発生を起点として1時間にわたって、また、TBP等の結体の急激な分解反応の発生を起点として3時間にわたって放射性物質を含む気体を導出できる容量を有する設計とする。	【前処理建原】 ○設計基準対象の施設と兼用した 情報の外容側 ・解析製造品 ○ 設計基準対象の施設と兼用した ・ 廃ガス貯留槽 ・ 廃ガス貯留槽		-	-	-	-	-	-	-	0	-	【前処理地區】 「設計基準対象の施設と兼用しない的〈容器〉 借 ・ 度ガス的設情 ・ 容量	k	-	【特別地屋】 ○設計基準対象の施設と兼用した 情 ・廃ガス貯留槽	- -	-	〈容器〉 · 容量
その際、臨界事故によって発生する放射線分解による木素を専出した場合でも、度ガス貯留設備の成ガス貯留構の成用部の木素濃度がドライ線 第4 v o 1 %を超えない容量とする設計とする。	「前処理塘原」 「設計基準対象の施設と兼用し! 情報、外配管槽 ・特勢地路」 「設計基準対象の施設と兼用し! ・廃ガス貯留槽 ・廃ガス貯留槽		-	-	-	-	-	-	-	0	-	[前処理地區] (設計基準対象の施設と兼用しない的〈容器〉 借 ・ 度ガス的設情	, t	-	【特別地屋】 ○設計基準対象の施設と兼用した 情 ・廃ガス貯留槽	- <u>-</u>	-	〈容器〉 · 容量
度ガス町留設備の度ガス貯留槽は、臨界事故又はTBP等の結体の急激 な分解収収が発生した場合において、臨界事故又はTBP等の結体の急激 変な分解収にが発生した場合に対す他等度を対象を分間するからには 変なが解えたよう発生した設計を対象を対策するからには の空気圧縮線及び昨に、多形にした設計とし、廃ガス貯留設備は、前窓 理量层及び精製地型に必要な系列数を設置する設計とする。	【前処理雑配】 (設計基準す象の施設と兼用して物で、	設計方針(個数及び容 量)	-	-	-	-	_	-	-	0	-	【前処理建展】 (容器 ・銀数 ・銀数 ・銀数 ・銀数 ・20 ・20 ・20 ・20 ・20 ・20 ・20 ・20 ・20 ・20	t :: :>> (-	【特製建星】 ○記計基準対象の施設と兼用した 情報スカ貯留階 ・受工工総構 ・受工工総構 ・廃ガス貯留設備の隔離弁		-	《客腦》 · 侧霉素 · 等量》》 · 侧霉素 · 侧霉素 · 侧霉素 · 侧霉素 · 侧霉素
遊ガス貯留設備は、臨界事故の発生を仮定する機器及びTBP等の結体 の急激な分解反応の発生を仮定する機器ごとに、重大事故等への対処に 必要な設備を確保する設計とする。	前於理種類 一部記書極東 一部記書極東 一部記書極東 一部記書極東 中部記書 一部記書 一記書 一記書	受傷がいい。 受傷の 受傷の 受傷の 受傷の を傷の を傷がいる を動形する を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 を受験がある。 をしまれる。 をしまな。 をしまな。 をしまな。 をしまな。 をしまな。 をしまな。 をしまな。 をしまな。 をしまな。 をしまなる。 をしまな。 をしな。 をしな。 をしる		-	-		-	-	-	0	_	・ 外主要 (一年) (中国	使用用解释 "村村晚上"、"福、使使竹村晚上"、"福使使竹村晚上"、"福使使竹村晚上"、"福"、"村村晚上"、"石"、"石"、"石"、"石"、"石"、"石"、"石"、"石"、"石"、"石		【特製地量】 ○設計基準対象の施設と兼用十さ 管轄設定経路情報度が火処理設計。 ・ 第次タッ・ブルトニウムの ・ 第次タッ・ブルトニウムの ・ 第十年	塔)達 槽 横渡 壁 い い 吟 喀の 標準の 標準の 搭連 の 標準の	-	在

		ı			I	第1Gr			第2 G r	(貯蔵庫共用)			第2日 (主	要 4 建屋、E施設共用)		_			第3Gr		
	項目 经分	要求種別	主な設備	展開事項	説明対象	申請対象設備(2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更③)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し工事)	仕様表
222	廃ガス貯留設備は、TBP等の結体の急激な分解反応により瞬間的に上 昇する温度及び圧力の影響を考慮しても機能を損なわない設計とする。	機能要求②	【精製速筒】 の設計基準な象の施設と兼用する主配等 精製造配常情類がス処理設備等情 開放ガス処理設備等情 が成がえる場合 (アルトニウム系) の情報が表現 (アルトニウム系) の (大型型) の (大型型型) の (大型型) の (大	設計方針(環境条件等)		-			-	-	-	-	-	-	-	0	-	【特別地區】 ○設計基準対象の施設と兼用する当等 ・精製地風塔博照度ガス処理設備等 ・精製地及塔博系 (ブルトニウム系)・ ・精神版対の処理系 (ブルトニル品 配 解時 ・ 新年 (大東) (東京) (東	曹 昆 系名 記 上 ウ	-	(主 配径 要が と

別紙2

3. 5 別紙2 機能要求②抜粋

(第39条:冷却機能の喪失による蒸発乾固 に対処するための設備)

[追而※]

※ 資料のマスキング整理後に提出予定

別紙 1-15

申請対象設備の抽出作業結果(再処理) その他再処理設備の附属施設 (冷却水設備)

- 1. 申請対象設備リスト
- 2. 申請対象設備抽出結果
 - 2. 1 申請対象設備抽出結果(安全冷却水系) *1
 - 2. 2 申請対象設備抽出結果(代替安全冷却水系)※2
 - ※1 外部ループ及び前処理建屋以外の内部ループは追而
 - ※2 前処理建屋以外の代替安全冷却水系は追而
- 3. 関連する別紙2 (機能要求②抜粋)
 - 3.1 別紙2 機能要求②抜粋(10条:閉じ込めの機能)

[2021年8月26日提出]

3. 2 別紙2 機能要求②抜粋(19条:使用済燃料の貯蔵施設等)

[2021年9月30日提出]

3.3 別紙2 機能要求②抜粋(39条:冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備)

「追而」

1. 申請対象設備リスト

申請対象設備リスト

「番号」については、他条文等の整理を踏まえ、申請対象設備リスト 完本時に通し番号を設定することとする。 基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号 凡例 39条 (代替安冷) : 代替安全冷却水系

番号 施設	化区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考
その他再処理設備の 附属施設	_	冷却水設備	安全冷却水系	_	安全冷却水A/B冷却塔	熱交換器	10条-5	機-07-01	A4 (A) /A4 (B)	2	②-1 ②-3	改造/既設	安重	_	_	_	
その他再処理設備の 附属施設	_	冷却水設備	安全冷却水系	_	安全冷却水A/B循環ポンプA/B	ポンプ	10条-5	機-07-02	AA	4	2-3	既設	安重	_	_	_	
その他再処理設備の 附属施設	_	冷却水設備	安全冷却水系	-	安全冷却水1A, 1B, 2中間熱交換器	熱交換器	10条-5、39条 (代替 安冷) -2	機-02-98	AA	3	@-3	既設	安重	常設SA	主:安全冷却水系 従:代替安全冷却水系	_	
その他再処理設備の 附属施設	_	冷却水設備	安全冷却水系	-	安全冷却水1A, 1B, 2ポンプA, B	ポンプ	10条-5、39条 (代替 安冷) -2	機-02-105	AA	6	2 -3	既設	安重	常設SA	主:安全冷却水系 従:代替安全冷却水系	_	
その他再処理設備の 附属施設	_	冷却水設備	安全冷却水系	-	主配管	主配管	10条-5,39条 (代替 安冷) -2,3,4,5,6	配-07-01 配-02-01	A4/AA/AB/AC/A G/CA/KA/AT	一式	2-1 2-3 2-4	改造/既設	安重	一/常設SA	主:安全冷却水系 従:代替安全冷却水系	_	
その他再処理設備の 附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	-	安全冷却水1A, 1B, 2膨張槽	容器	39条(代替安冷)-2	機-02-59	AA	3	2 -3	改造	安重	常設SA	_	_	
その他再処理設備の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	主配管	主配管	39条 (代替安冷) - 2, 3, 4, 5, 6	配-02-01	AA	一式	2 -3	新設	-	常設SA	_	_	
その他再処理設備の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	可搬型建屋内ホース	主配管	39条 (代替安冷) - 2, 3, 4, 5, 6	_*	AA	一式	2−3	新設	-	可搬SA	_	_	※事業変更許可申請書との紐付 け実施済み。設計完了後、設計 図書等にて再度紐付けを実施。

2. 申請対象設備抽出結果

2. 1 申請対象設備抽出結果

施設	その他再処理設備の附属施設
設備	安全冷却水系
機器	熱交換器、ポンプ、主配管

	施設	区分		設備	区分		機器名称 (許可)
	その他再処理設備の附属施設	_	冷却水設備	安全冷却水系	_	_	再処理設備本体用 安全冷 却水系冷却塔,冷却水循環 ポンプ,中間熱交換器,内部 ループの冷却水を循環する ためのポンプ,安全冷却水 系
【主たる機能】	Pu溶液又はHAW溶	液を保有する貯槽の	の崩壊熱除去 (DB)				

「物語寺の抽山」																	
紐付け番号	施設区分		設備	区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機-07-01	その他再処理設 備の附属施設	冷却水設備	安全冷却水系	_	_	再処理設備本体用 安全冷 却水系冷却塔	安全冷却水A/B冷却塔	熱交換器	A4 (A) /A4 (B)	2	2-1 2-3	改造/既設	安重	_	_	_	
機-07-02	その他再処理設 備の附属施設	冷却水設備	安全冷却水系	-	_	冷却水循環ポンプ	安全冷却水A/B循環ポンプA/B	ポンプ	AA	4	②-3	既設	安重	1	_		
機-02-98	その他再処理設 備の附属施設	冷却水設備	安全冷却水系	_	_	中間熱交換器	安全冷却水1A, 1B, 2中間熱交換器	熱交換器	AA	3	②-3	既設	安重	常設SA	主:安全冷却水系 従:代替安全冷却水系	-	
機-02-105	その他再処理設 備の附属施設	冷却水設備	安全冷却水系	_	_	内部ループの冷却水を循環 するためのポンプ	安全冷却水1A, 1B, 2ポンプA, B	ポンプ	AA	6	2-3	既設	安重	常設SA	主:安全冷却水系 従:代替安全冷却水系		
	その他再処理設 備の附属施設	冷却水設備	安全冷却水系	-	-	安全冷却水系	主配管	主配管	A4/AA/AB/AC/ AG/CA/KA/AT	一式	2-1 2-3 2-4	改造/既設	安重	-/常設SA	主:安全冷却水系 従:代替安全冷却水系	_	

	施設	区分		設備	区分		機器名称(許可)						
【対象機器】	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	安全冷却水系	_	_	安全冷却水系						
【主たる機能】	内部ループへの通水	が開発地域 特部ルーブへの通水による冷却											

【機器等の抽出】

TOX BE AL AND HITT																		
紐付け番号	施設	区分		設備	区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
配-07-01 配-02-01	その他再処理設備 の附属施設	-	冷却水設備	安全冷却水系	-	-	安全冷却水系	主配管	主配管	A4/AA/AB/AC/ AG/CA/KA/AT	一式	2-1 2-3 2-4	改造/既設	安重	一/常設SA	主:安全冷却水 系 従:代替安全冷 却水系	-	

2. 2 申請対象設備抽出結果

施設	その他再処理設備の附属施設
設備	代替安全冷却水系
機器	容器、熱交換器、ポンプ、主配管

	施設	区分			機器名称(許可)		
【対象機器】	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	_	膨張槽、代替安全冷却水 系、可搬型建屋内ホース
【主たる機能】	内部ループへの通水	による冷却					

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設	区分		設備区	Si)		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
機-02-59	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	_	膨張槽	安全冷却水1A, 1B, 2膨張槽	容器	AA	3	2-3	改造	安重	常設SA	_	_	
配-02-1	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	-	_	代替安全冷却水系	主配管	主配管	AA	一式	2 -3	新設	-	常設SA	_	-	
_	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	-	_	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	主配管	AA	一式	2 -3	新設	_	可搬SA	-	-	

	施設	区分		機器名称(許可)			
【対象機器】	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	代替安全冷却水系、可搬型 建屋内ホース	
【主たる機能】	貯槽等への注水						

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施設	区分		設備	区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
配-02-01	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	_	代替安全冷却水系	主配管	主配管	AA	一式	2-3	新設	_	常設SA	_	_	
_	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	_	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	主配管	AA	一式	2)-3	新設	_	可搬SA	_	_	

	施設	区分		機器名称(許可)		
【対象機器】	その他再処理設備 の附属施設		冷却水設備	代替安全冷却水系		代替安全冷却水系、可搬型 建屋内ホース
【主たる機能】	冷却コイル等への通	水による冷却				

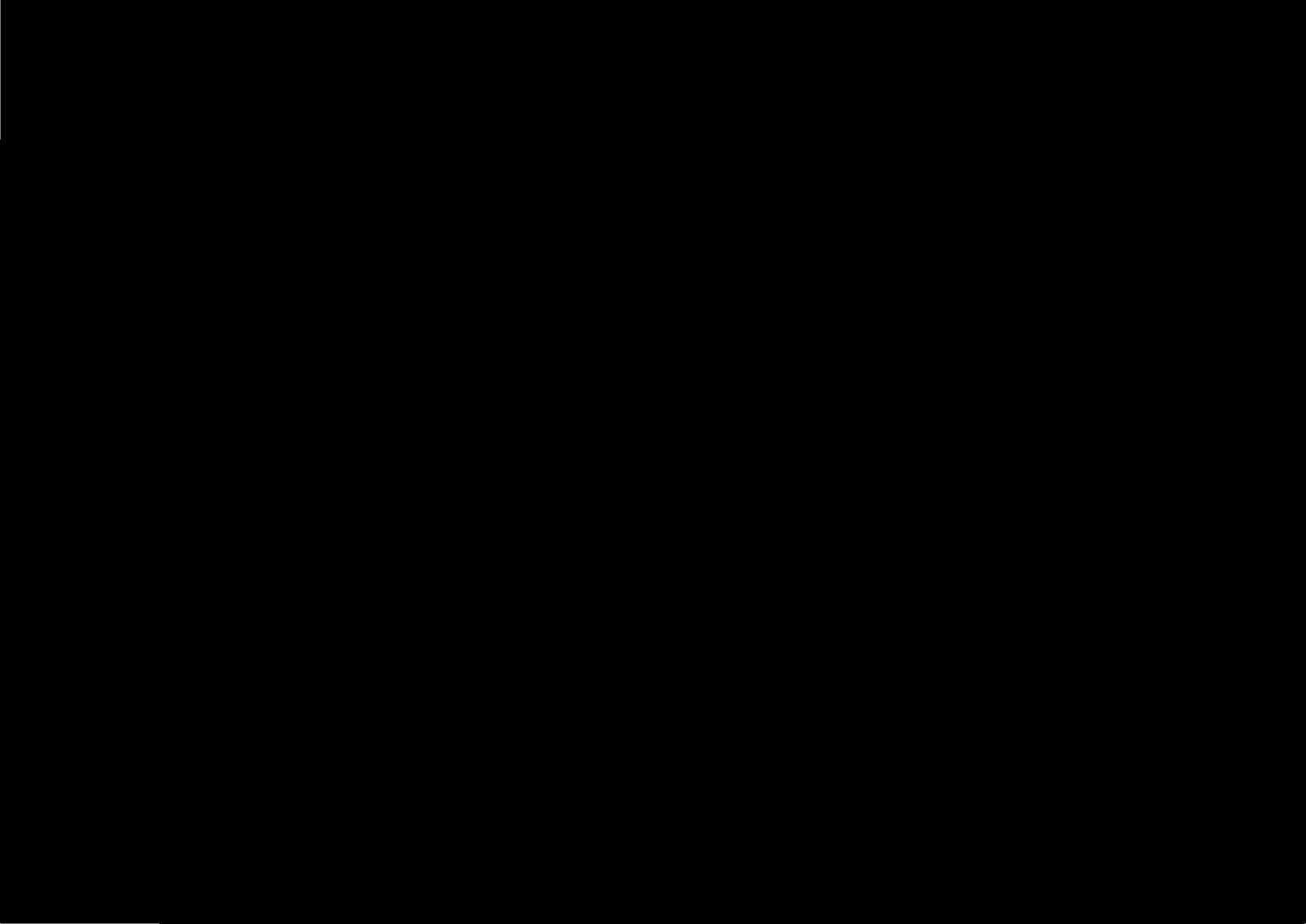
	機	器	等	0	抽	88	1
--	---	---	---	---	---	----	---

「機器寺の畑田」			,															
紐付け番号	施設区	分		設備	区分		機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
配-02-01	その他再処理設備 の附属施設	-	冷却水設備	代替安全冷却水系		_	代替安全冷却水系	主配管	主配管	AA	一式	2-3	新設	_	常設SA	-	_	
_	その他再処理設備の附属施設	-	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	_	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	主配管	AA	一式	2 -3	新設	-	可搬SA	-	-	

	施設	区分			機器名称 (許可)		
【対象機器】	その他再処理設備 の附属施設		冷却水設備	代替安全冷却水系、可搬型 建屋内ホース			
【主たる機能】	セルへの導出経路の	構築及び代替セル排気	気系による対応				

【機	器等	の抽	出)	1

「機器寺り田田」																		
紐付け番号	施設	区分		設備	区分		機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
配-02-01	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	_	代替安全冷却水系	主配管	主配管	AA	一式	②-3	新設	-	常設SA	_	-	
_	その他再処理設備 の附属施設	_	冷却水設備	代替安全冷却水系	_	-	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	主配管	AA	一式	2 -3	新設	-	可搬SA	-	-	



3. 関連する別紙2 (機能要求②抜粋)

3. 1 別紙2 機能要求②抜粋

(第10条:閉じ込めの機能)

[2021年8月26日提出]

					第1 G r			第:	2 G r (貯蔵庫共用	1)			第2Gr	(主要4建屋、E施設共用)					第3Gr		
項目 番号	要求種別	主な設備	展開事項	脱明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	脱明対象	申請対象設備 (1項変更①)		申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	脱明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更③)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建屋に係る施設	申請対象設備 (別設工認②) 海洋放出管切り離し工事)	仕様表
設計基準率故時においても、可能な限り負圧維持、漏えい及び逆流防止の機能が解除される設計とするとともに、一部の機気系統の機能が倒な われた場合においても、再処理施設全体として気体の閉じ込め機能を確 除する設計とする。		止、胚処理・高解底ガン処理設備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	設計方針(閉じ込め)			_	-	-	-		-			基本設計方針	容量機	-	-	基本設計方針	-	_	容量原動機
安全機能を有する施設は、使用消費料等から発生する廃譲熱を適切に除 をよすることとし、使用消費料等を含む溶液の廃棄熱による機能内での適 機を約止する設計とする。	機能要求② 評価要求	溶解設理 非確よ。 非量数値 の機能 一時下留処理設備 方ルトコクも特別処理設備 方を表現したこのも時間処理設備 がの表現したこのもの影響を 最終系) が必然変更設備(高レベル機能 機能所) 成化の機能処理設備(高レベル機能 が成け解析 高レベル機能処理設備(本の体能 成で解析 高レベル機能処理設備(共用貯備系) あレベル機能の理設備(大用貯備系) を必要がある。 を必要がある。 を必要がある。 のレベル機能の理設備(大用貯備系) などのがある。 でを表現る。 では、 のレベル機能の理設備(大用貯備系) などのがある。 では、 のレベル機能の理設備(大用貯備系) などのがある。 では、 のレベル機能の理設備(大用貯備系) などのがある。 のレベル機能の理設備(大用貯備系) などのがある。 のレベル機能の理設備(大用貯備系) などのがある。 のレベル機能の理設備(大用貯備系) などのがある。 のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の関連を のレベル機能の のレベル性を のしたを のした のしたを のしたを のした のしたを のした のした のした のした のした のした のした のした		- 基本	本設計方針	容量、每年,每年,每年,每年,每年,每年,每年,每年,每年,每年,每年,每年,每年,每	-	-	-		_			基本設計力針	容量	-	-	基本設計力針	_	_	容量 在熟面傾 吐出好材 主主要 動機
使用済態料等を内包する系統及び機器。セル等及び室並びにセル等及び 室を収納する建屋は、気体廃棄物の廃棄施設により負圧に維持する設計 とする。	機能要求②	塔槽類廃ガス処理設備 換気設備	設計方針 (閉じ込め)			-	-	-	-		-	- =		基本設計方針	容量 原動機	_	基本設計方針	基本設計方針	-	=	容量原動機
プルトニウムを含む溶液及び無型、ク ランとや密封でも重に扱う服う無に機能、されずのではより、変換する の連載に取り取り再に受験を されずれが立により取ります。 で、建細、セル等をびに、系統及び機器の磁に気圧が低くなる設計とする。 。	機能要求②	せん斯処理・溶解度ガス処理設備 非常期底ガス処理設備 (の野球、(分離後期) (の野球、(分離後期) (の野球、(分離後期) (の野球、(分離後期) (の野球、(分離後期) (の野球、(分離後期) (の野球、(分離後期) (の野球、(分離後期) (の野球、(分離後期) (の野球、(の野球) (の野球、(の野球) (の野球、(の野球) (の野球、(の脚球) (の野球、(の脚球) (our) (our	設計方針(閉じ込め)			-	-	-	-		-			基本設計方針	容量級財機	-	-	基本設計力針	-	_	容量原動機
旅体状の使用姿態料等を持負する系統及び機器を収納するセル等の床に はステンレス網製の編えい液受血を設置し、万一液体状の使用溶燃料等 かせル等に漏えいした場合は、漏えい検知速度により漏えいを検知し、 編えいが放大を防止するともに、スチースが、ボンブス は重力能により備えいした液の性体に応じて定めた移送先に移送することで、変金に処理できる設計とする。	機能要求②辞価要求	とおいた。 お情類度ガス処理設備(塔槽類廃ガス 処理系(分離建屋)) 塔槽類廃ガス処理系(ウラン系)	総大防止・漏えい彼の向 収能力 評価(漏といの拡大防 ・漏えい液の回収能 力)			_	-	-	-		-			基本設計方針	社選金要素 出金を表 力 科法 の側 の側 の 側 の の の の の の の の の の の の の	-	-	基本設計方針	-		处
使用済能料等を取り扱うグローブボックスは、給気口及び排気口を除き、密閉することができる設計とする。	機能要求②	う無設備 分配設備 グルトニウム混合 脱硝設備 グルトニウム混合 脱硝設備 (前液系) ルトニウム混合 脱硝設備 (力・ン・ブルトニウム混合 脱硝設備 (力・ン・ブルトニウム混合 脱硝設備 (対後・速元) グラン・ブルトニウム混合 脱硝設備 (物体、速元) (対し、アルニウム混合 脱硝設備 (制体、設定機関係 第2機関設備 (制体、設定機関係 第2機関設備 (制度 2000年) (利度 300年) (利度 300年) (利	設計方針(閉じ込め)	_		-	-	-	-		-	-		基本設計力針	溺えい牢	-	_	基本設計力針	-		漏えい牢
密封されていない使用済燃料等を取り扱うフードは、気体薬薬物の薬薬 施設の機気設備に接続することにより、開口部の風速を適切に維持する 設計とする。	機能要求②	ウラン既所設備(受入れ系) ウラン販所設備(ウラン販研系) ウラン・アルトニウム混合販研設備 (分析表) 分析設備	設計方針(閉じ込め)			-	-	-	-		-	_		基本設計方針	_	=	基本設計方針	基本設計方針	-	-	-

3. 1 別紙2 機能要求②抜粋

(第19条:使用済燃料の貯蔵施設等)

[2021年9月30日提出]

						第1Gr			第2Gr	(貯蔵庫共用)	1		第2Gr(主	要 4 建屋、E施設共用)			1	T	第3G r		
項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し工事)	仕様表
27	使用済燃料収納使用済燃料輸送容器保管庫は、冷却空気の流路を確保 し、キャスクに収納された使用済燃料の崩壊熱を自然冷却により除去 し、本保管庫の構造物の健全性を維持する設計とする。 燃料取出してナト及び燃料仮置きピット内面は、漏水を防止するためス	評価要求	使用済燃料受入れ設備(使用済燃料 送容器受入れ・保管設備) 使用済燃料受入れ設備(燃料取出し	評価 (崩壊熱除去)	-	-	_	_		_	-	-	-	-	-	Δ	基本方針	-	_	=	〈保管・廃棄エリ ア〉 ・容量 〈容器〉
28	デンレス鋼を内張りし、下部に排水口を設けない構造とするとともに、 ビットに接続された配管が破損してもビット水が流出しないように逆止 弁を設置する設計とする。	機能要求② 設置要求 評価要求	(備) 使用済燃料貯蔵設備(ブール水冷却 系)	an at it of (next elemn)	-	-	-	_	_	_	-	-	-	_	-	Δ	基本方針	-	_	-	《容器》 ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・主要材料 ・主要寸法
29	また、万一のビット水の漏えいに対し、漏えい検知装置を用いて漏えい を検知する設計とし、漏えい水を使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 廃液処理系へ移送できる設計とする。	機能要求①機能要求②	使用済燃料貯蔵設備(補給水設備) 使用済燃料受入れ設備(燃料取出し 備) 計測制御設備(計測制御設備)	設 設計方針(漏えい検知)	_	-	_	_	_	_	_	_	-	-	_	Δ	基本方針	-	_		<計測装置> ・検出器の種類 ・計測範囲
30	さらに、燃料取出し設備の燃料取出しビット及び燃料仮置きビットのラ イニングは、万一の使用済燃料組合体の落下時にも燃料取出レビットホ 及び燃料仮置きビット水の保持機能を失うような著しい損傷を生じない ようにする設計とする。	機能要求② 評価要求) 使用済燃料受入れ設備(燃料取出し	設計方針(搬送) 評価(搬送落下)	-		_	_		-	_	-		_	_	Δ	基本方針	_	-	_	 警報動作範囲 容器> 最高使用温度 最高使用压力 主要寸法
43	海井野龍 デールは、BVR 使用原燃料集合体1,500 \cdot \cdot \cdot 1 \cdot \cdot 1 \cdot	V 機能要求の) 使用诱燃料貯藏設備 (燃料貯藏設備)	基本方針	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Δ	基本方針	_	-	_	〈容器〉
44	無料容盛ブール、チャンネルボックス・バーナブル ボイズン東級ビッ ・燃料等を終放と既解発達出レット(以下 能料件電ブールンス れに隣接するビット等」という。)の内面は、端水を防止するためステ ンレス線を内撃りし、さらに、熱水石を設けされ構造とするともに、燃料容蔵ブール及びこれに隣接するビット等に接続された配管が破損し てもプール水が流出しないように逆止歩を設置する設計とする。	機能要求②設置要求評価要求	使用済燃料貯藏設備 (燃料移送設備 使用済燃料貯藏設備 (燃料移送設備)使用済燃料貯藏設備 (燃料送出し設 億) 使用済燃料貯藏設備 (ブール水冷却 系) 使用済燃料貯藏設備 (オール水冷却 系)	設計方針 (貯蔵施設)	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	Δ	基本方針	-	-	-	〈容器〉 ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・主要材料 ・主要寸法
45	なお、万一のブール水の備えいに対し、祭科的能ブール及びこれに隣接 するピット等には漏えい。後知表置を設けて備えいを検知する設計とし、 備えい水を使用済然料の受入れ施設及び背鐵施設施液処理系へ移送でき る設計とする。	機能要求①機能要求②	使用済燃料貯藏設備(燃料移送設備 使用済燃料貯藏設備(燃料貯藏設備 使用済燃料貯藏設備(燃料送出し設 個) 計測制御設備(計測制御設備)		-	-	-	_	-	-	-	_	-	-	-	Δ	基本方針	-	-	-	〈計測装置〉 ・検出器の種類 ・計測範囲 ・警報動作範囲
46	さらに、燃料貯蔵ブール及びこれに隣接するビット等のライニングは、 万一の使用お燃料集合格の落下時にもブール水の保持機能を失うような 著しい損傷を生じないようにする設計とする。	機能要求② 評価要求	使用済燃料貯藏設備(燃料移送設備 使用済燃料貯藏設備(燃料貯藏設備 使用済燃料貯藏設備(燃料送出し設 備)		-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	Δ	基本方針	-	-	-	〈容器〉 ・最高使用温度 ・最高使用圧力 ・主要材料 ・主要寸法
50	ブール水台銀系は、整料貯蔵ブール・ビット等に使用が無対集合をを客 無いさばい店が成した場合でも、系列で開始を開始と、機等的 ブール水塩を65℃以下に保ち、燃料貯蔵ブール・ビット等の構造物の健 全性を維持できる設計とする。		使用済飲料的鑑設備 (燃料移送設備 使用蒸飲料的鑑設備 (燃料存施設備 使用蒸飲料的鑑定備 (燃料存施設備 使用蒸飲料的鑑定備 (燃料之份) 使用蒸燃料的鑑設備 (ブール水冷却 系列制制設定備 (計削制與設備) 安全冷却水系 (安全冷却水系)	設計力針(貯蔵施設) 評価(崩壊熱除去)	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	Δ	基本方針	_	_	_	・ 保証・ (東京) (東re) (東
51	2 系列運転の場合は、燃料貯蔵プールの水温を50°C以下に維持する設計とする。	機能要求②評価要求	使用溶燃料的鑑設備 (燃料移送設備使用涂燃料的鑑設備 (燃料移送設備 使用涂燃料的鑑設備 (燃料液配置 (燃料送出し設備) 使用涂燃料的鑑定備 (ブール水冷却 計削制卸設備) 安全冷却水系 (安全冷却水系)		-	_	_	-	_	-	-	-	-	-	-	Δ	基本方針	-	_	-	・ 発交施の (発生) (発生) (発生) (発生) (発生) (発生) (発生) (発生)
52	ブール水浄化系は、水の検度及び適利度を維持するため、燃料及出したり、燃料保置きビット及サチンネルボラス・バーナブルボイズン取扱ビットの超減せから総論するブール水をボンブで昇圧し、ろ過衰速及び限度整理でる過及収録した後、燃料出しビット、燃発度と可能支援である扱い表が表がまった。メールスがボイズン取扱ビットへ戻す設計とするとともに、燃料解電ブール及び場外送出しビットへ戻す設計とするプール水を、ボンブで昇圧し、一部を根塩装置で限塩した後、燃料貯蔵ブール及び燃料送出しビットへ戻す設計とする。	機能要求例	使用済燃料貯鑑設備 (ブール水浄化 系)	基本方針	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Δ	基本方針	-	-	-	〈ろ過装置〉 ・容量 〈ポンプ〉 ・容量 ・揚程又は吐出 圧力 ・原動機
53	補給水設備は、補給水槽に貯蔵した水を燃料取出し準備設備、ブール水 浄化系、燃料貯蔵ブール・ビット等、機能性計測装配、液体保養等の原業 素施設で(塩ン・心臓疾性残弱物)一部)及じ間体影響がの原業を設定(後 所定のレベルに係っことにより、ブール水による樹素熱の除去機能及び 産業機能が確保できる設計とする。		使用溶燃料貯藏設備(補給水設備) 計劃制御設備(計劃制御設備)	基本方針	-	-	-	-	_	_	-	-	-	-	-	Δ	基本方針	_	-	-	(宇路》) ・ 容が できまって、 できない できない できない できない できない できない できない できない

3. 4 別紙2 機能要求②抜粋

(第39条:冷却機能の喪失による蒸発乾固 に対処するための設備)

[追而※]

※ 資料のマスキング整理後に提出予定